

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光宣伝広告経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の多彩な観光素材を活用した情報発信を通して観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江観光大使制度を活用した観光PR、県外PR活動、観光パンフレット作成、キャラクター「松江の吉田くん」を活用したPRなどを実施。

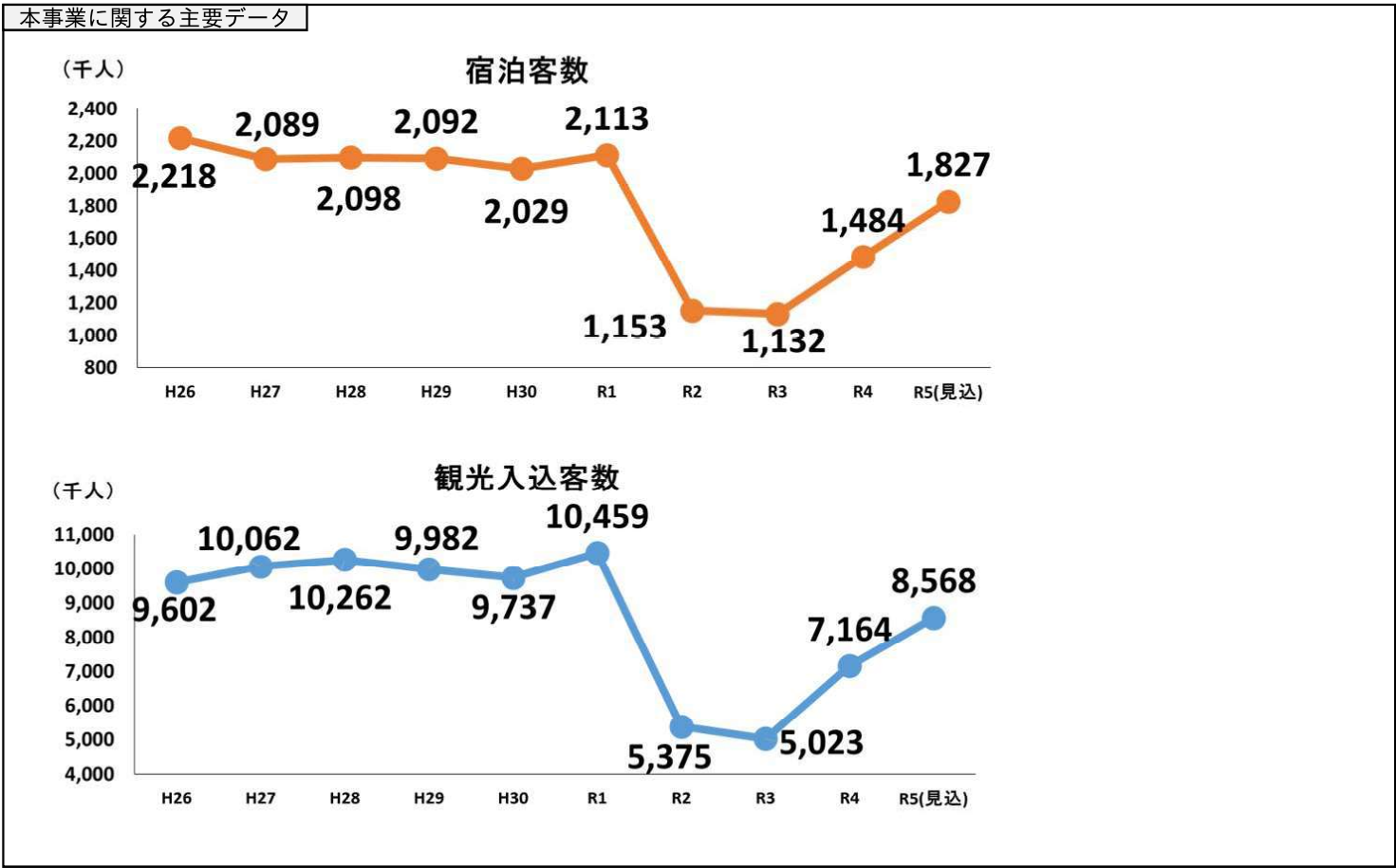
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		7,387	8,325
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	7,387	8,325
歳入合計		7,387	8,325

課題	○観光大使を活用した効果的なPRに向けた情報発信の充実を図っていく必要がある。	方向性	○観光大使に対し、松江市の観光情報を継続的に発信していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	「松江らしさ」を活かしたプロモーション		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	343		
需用費	3,463		
役務費	1,038		
委託料	2,869		
使用料及び賃借料	612		
事業費計		8,325	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光協会運営補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の観光振興を図るため、国宝松江城など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	本市の観光振興を目的とする（一社）松江観光協会に対し、事業及び人件費の補助を行う。 ホームページ、SNSによる情報発信や、旅行会社への商品造成の働きかけ、県外イベントへの出展などのプロモーションを強化する。 様々な施策を観光協会と連携して実施し、観光消費額の拡大、観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人の実現を目指していく。

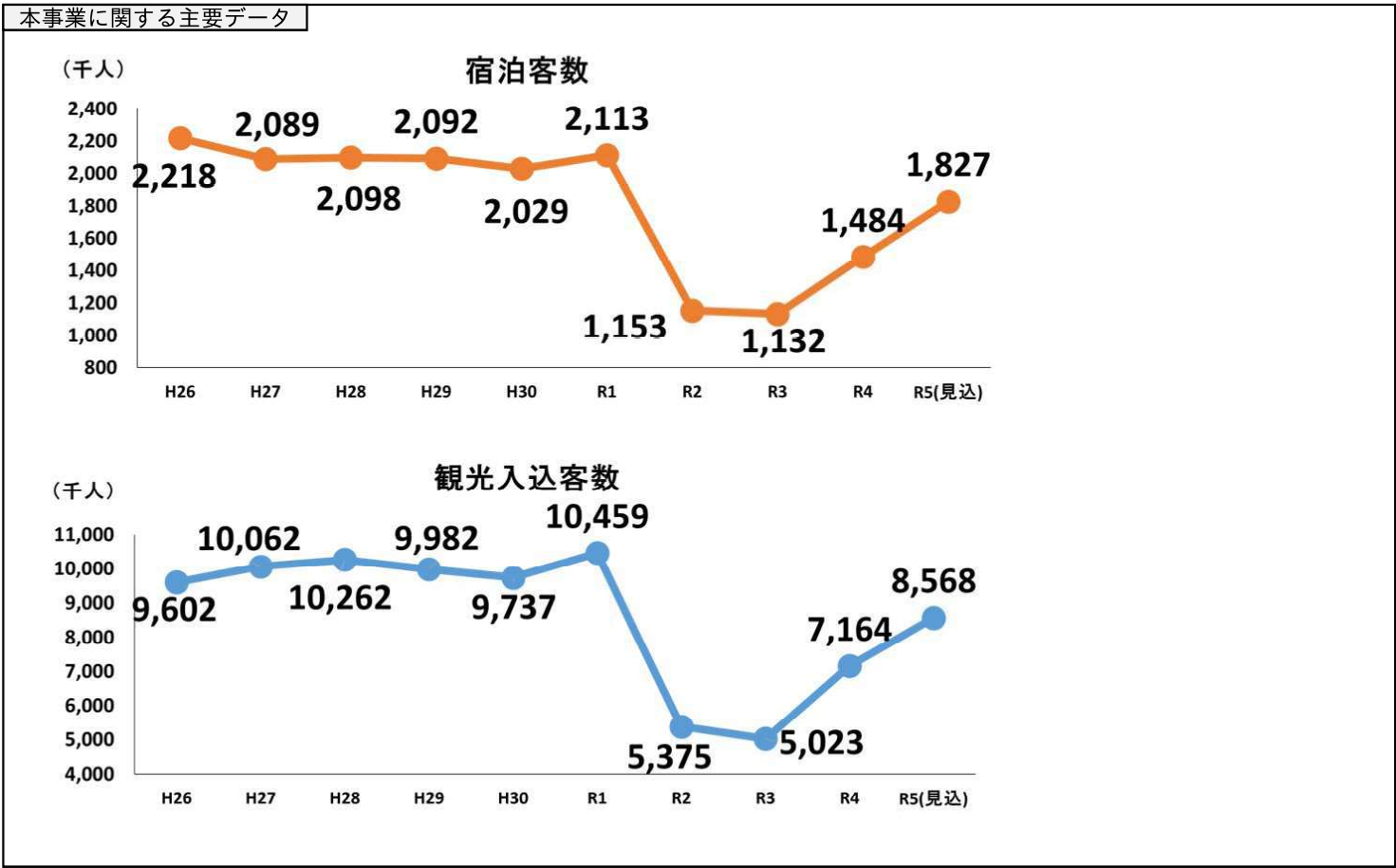
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営
	達成度		
	1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		145,457	140,125
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	115,000	0
	一般財源	30,457	140,125
歳入合計		145,457	140,125

課題	○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行っていくため、統計データに基づくマーケティング機能など観光協会の組織強化が求められる。 ○行政と観光協会の役割分担を明確化し、自立性を高めていく必要がある。	方向性	○松江観光協会組織戦略の方針に基づき、組織体制と機能強化につなげる。 ○観光振興によって地域経済の活性化を図り、持続可能な観光地づくりを実現する。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	情報発信、観光プロモーション、まちあるき観光事業等		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	140,125		
事業費計		140,125	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費（企業人材活用）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中海・宍道湖・大山圏域の歴史、文化、自然、食など多彩な観光資源を活用し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		松江市宿泊者数（万人）		211	219	250
	目標（何を達成するのか）	松江市観光入込客数（万人）		1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年 ①本事業は総務省の地域活性化企業人制度（企業人材派遣制度）を活用することから、松江市が受入自治体として企業から人材を受入れ、（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣するもの。 ②中海・宍道湖・大山圏域観光局は、専門知識、旅行業のノウハウ、人脈を生かし、圏域の観光資源を活用した観光誘客を図るもの。 ○人材派遣元企業：旅行会社 ○受入期間：1年更新（令和4年度開始。最長令和6年度まで延長あり） ○経費：負担金5,600千円（特別交付税措置あり）
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

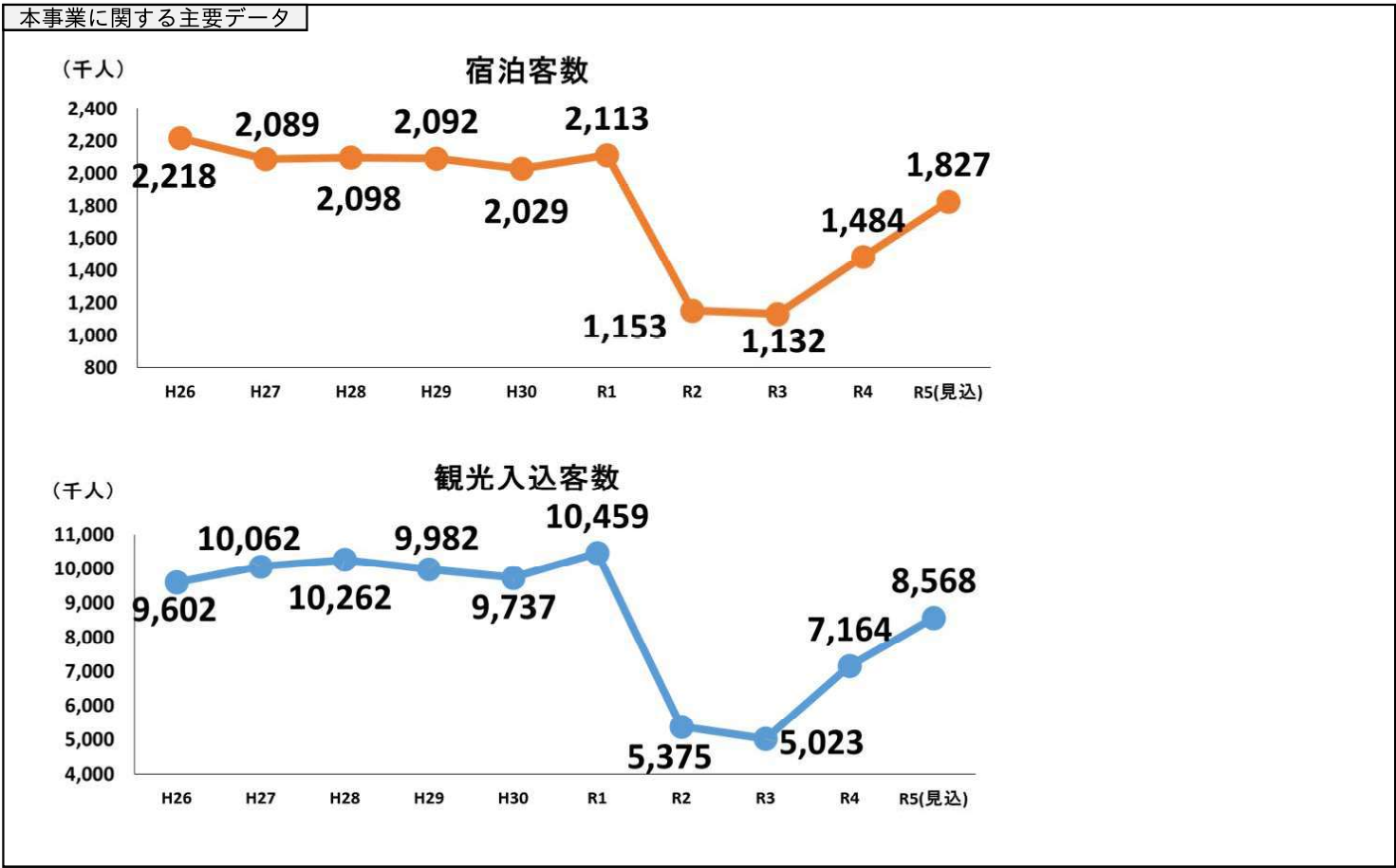
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		5,600	5,600
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,600	5,600
歳入合計		5,600	5,600

課題	○圏域への国内外からの誘客を促進するため、観光資源の掘り起こしやテーマ性・ストーリー性の構築などを図る必要がある。	方向性	○令和6年度も引き続き派遣継続予定。 ○旅行会社のノウハウを生かし、国内外の観光マーケットや旅行ニーズの把握、圏域の潜在する観光資源の掘り起こし、活用を通して誘客を図る。
----	---	-----	--

観光部観光振興課 広域観光推進事業費（企業人材活用）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	旅行会社から人材の受入れ		
	通年	圏域の観光商品造成促進		
	通年	圏域の観光コンテンツの磨き上げ		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,600		
事業費計		5,600	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	国宝松江城観光誘客対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図るほか、松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	○国宝松江城への観光誘客の推進。 ○宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 ○国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図る。 ○松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図るため、誘導案内看板の設置と警備委託及び繁忙日の観光客の安全確保を行う。 ○GWに交通規制に伴う誘導及び警備を実施する。 ○繁忙期には無料臨時駐車場を開設する。 ○松江城周辺駐車場の満空情報を車載型カーナビやスマートフォンのカーナビ等に情報提供して観光客の利便性向上を図る。
------	--

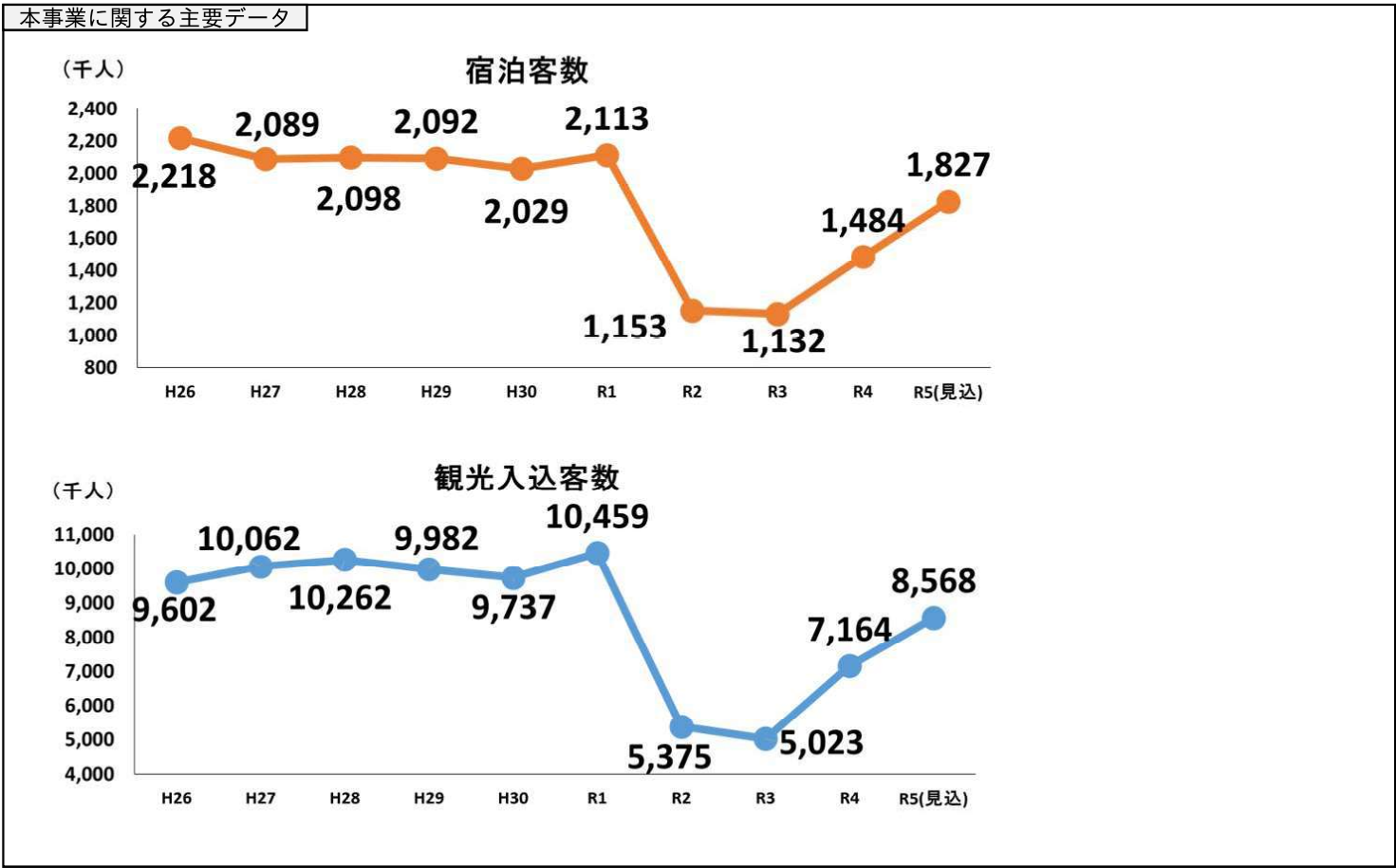
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費			11,444
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	11,444
歳入合計		0	11,444

課題	○松江城の国宝化を活かした更なる認知度向上 ○大手前周辺の交通渋滞緩和のため、引き続きスムーズな駐車場への誘導が必要 ○駐車場の満空情報システムをより広く周知し、事前に駐車場を分散できるような仕掛け作りが必要	方向性	○国宝城郭都市観光協議会に参画する他の国宝4城と連携したプロモーションを実施することで、国宝松江城の認知度の向上を図る。 ○松江城周辺の駐車場を有効に活用し混雑の緩和を図るため、誘導や警備を実施するほか、駐車場情報を観光客に提供する。 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報の周知を図る。 ○大型連休など繁忙日の無料臨時駐車場開設により交通渋滞の緩和を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～11月	松江城周辺警備員配置		
	GW期間	松江城周辺警備員増員、臨時駐車場開設		
	お盆期間	松江城周辺警備員増員、臨時駐車場開設		
	3月	松江城周辺警備員配置		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	128		
委託料	10,425		
使用料及び賃借料	291		
負担金補助及び交付金	600		
事業費計		11,444	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	J Rとの連携強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の地域資源を活かして、JRを利用した観光誘致への取り組みと駅を核としたまちづくりを促進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（目標数値の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	JR西日本米子支社と平成25年8月に締結した「地域振興のための連携協力に関する協定」にもとづき松江市の地域資源を活かした観光誘致への取組と駅を核とした魅力あるまちづくりを促進するため、JR京阪神主要駅において、JR松江駅、島根県、出雲市等と協働で誘客パンフレットの配布を行って、さらに無償でポスター掲示やパンフレットの設置を依頼している。 また、JR松江駅において、観光客のおもてなしを充実させるため待合室西側トイレのトイレットペーパーの提供を行うもの。

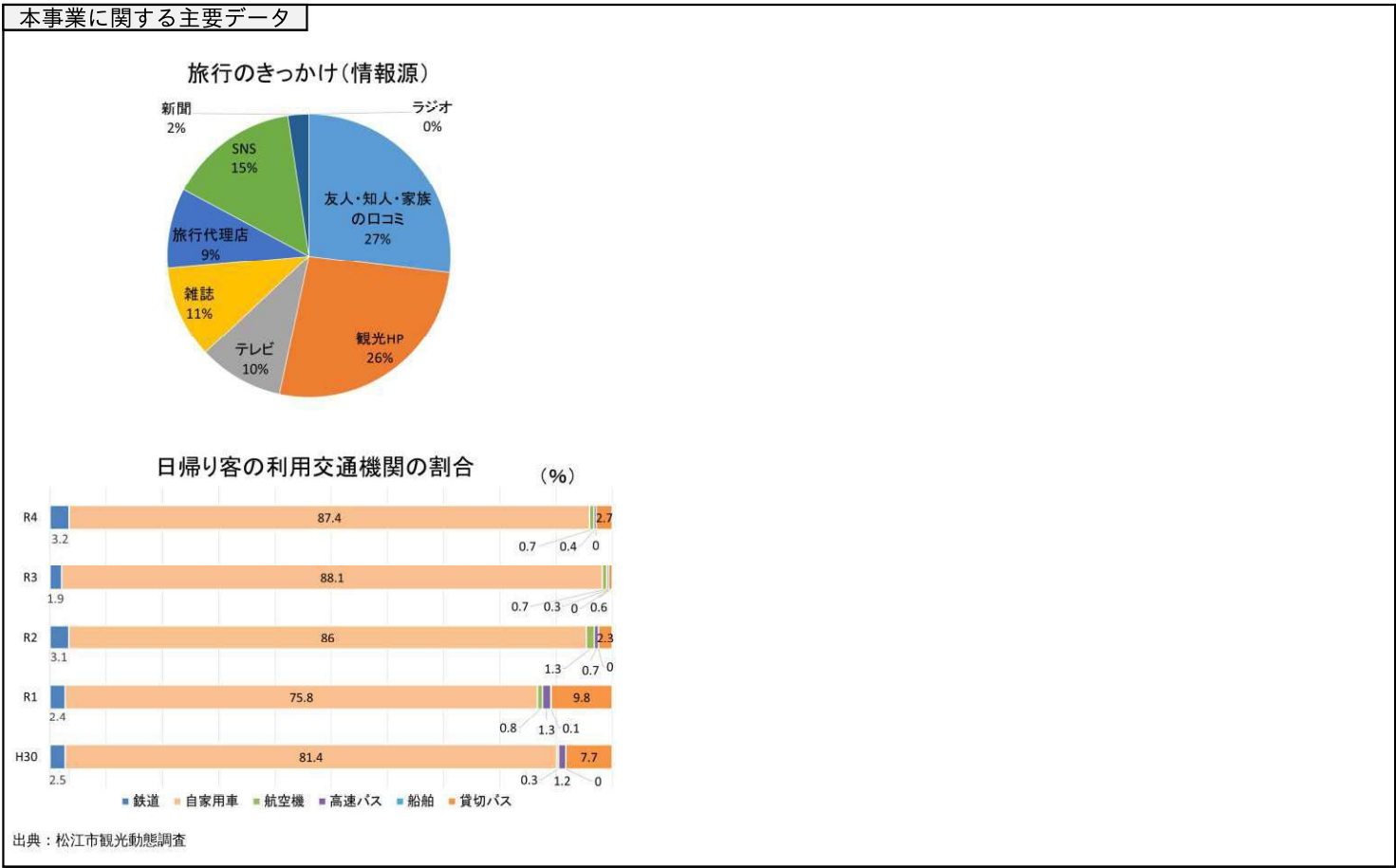
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		1,030	1,051
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	1,030	1,051
歳入合計		1,030	1,051

課題	○連携協定を活かした効果的な観光PRの継続と拡大 ○島根県、中海・宍道湖・大山圏域市長会との連携強化 ○JR松江駅でのおもてなしの充実	方向性	○京阪神主要駅観光PRキャラバンなど 連携した誘客を継続して実施 ○松江駅を中心とした観光案内やおもてなしの充実を図ることで国際文化観光都市としてのイメージアップ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月初旬	松江駅牡丹おもてなし実施		
	6月下旬	WEST EXPRESS銀河おもてなし終了（3月下旬開始）		
	12月下旬	松江駅牡丹おもてなし実施		
	通年	TWILIGHT EXPRESS瑞風おもてなし		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	80		
需用費	971		
事業費計		1,051	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光マーケティング事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光マーケティングによる観光施策のPDCAサイクル確立を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	観光施策におけるPDCAサイクルを確立し、観光宿泊客数250万人及び観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	島根県が実施している「観光動態調査」のうち、松江市分のデータ提供を受け、観光客の動向を分析・検証するため、松江市版の観光動態調査を行い、今後の観光施策を計画・立案するための基礎資料とする。 また、蓄積したデータを活用し、観光マーケティングによる戦略的かつ効果的な観光施策を実施し、PDCAサイクルの確立を図る。

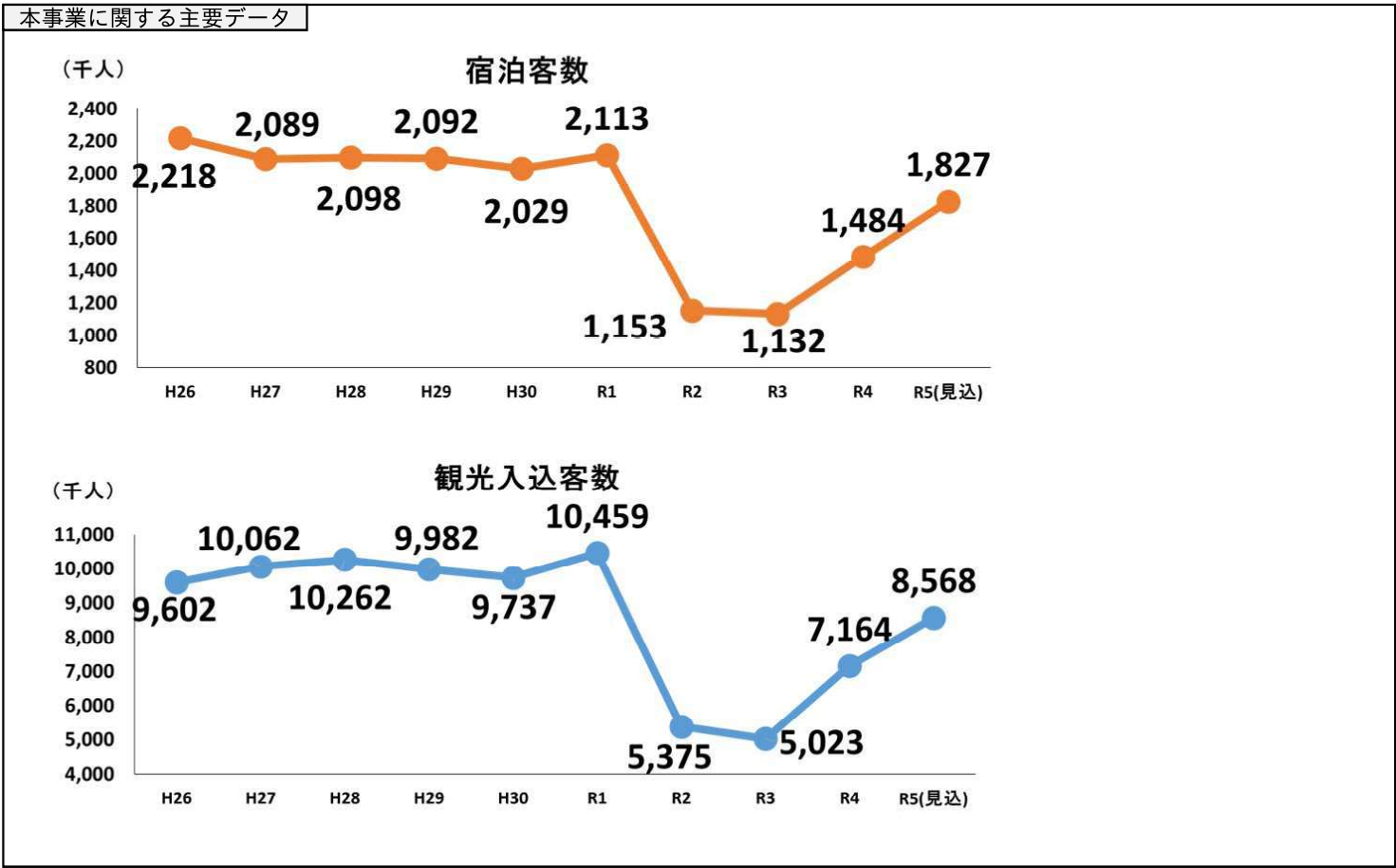
事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置		○松江市版観光動態調査の実施 ○市内観光施設7施設での人流解析の実施 ○宿泊データ分析システムの運用		同左	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		974	2,268
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	974	2,268
歳入合計		974	2,268

課題	○観光動向、変化する旅行スタイルやニーズを的確に捉え、観光施策に反映させる必要がある。	方向性	○マーケティングにより、効果的な施策を展開していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	観光動態調査実施、観光白書作成		
	通年	マーケティング（市場調査・分析）		
	通年	観光施設での人流解析		
	通年	宿泊者のデータ分析		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	307		
委託料	1,309		
使用料及び賃借料	652		
事業費計		2,268	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町A R・V R体験環境整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）技術を活用したアプリケーションを提供する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	松江城を中心に城下町の魅力・情報を紹介するAR・VR技術を活用した多言語対応アプリケーション提供するために、保守・管理業務を委託するもの。 また、令和2年度に作成した「VRスコープ」を、観光協会や周辺観光施設に販売委託するもの。 (1) 既存のアプリの保守・管理 (2) V Rスコープの販売委託

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R周知チラシのリニューアルおよび配布 4. アプリケーションの維持管理（上半期：令和5年4月～令和4年9月） V Rツアー体験者数：延べ約563名 松江城ページ閲覧数：延べ約2,199名 5. VRスコープの販売（上半期：令和5年4月～令和4年9月） 10個	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		1,525	1,045
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		38
	一般財源	1,525	1,007
	歳入合計	1,525	1,045

課題	○海外・国内の観光客の方にとって使いやすく魅力的なアプリ・コンテンツを構築し、多くの方に利用いただき、松江城天守への登閣者数、塩見縄手周辺の観光施設への周遊に繋げる工夫を盛り込む必要がある。 ○登閣者数に対するアプリ利用者の割合が低いので、アプリ自体の認知度向上をしていく必要がある。	方向性	○海外・国内向けの効果的なプロモーションを実施する。 ○利用者増に向け、ボランティアガイドや観光協会ガイド事業等と連携し、幅広い利活用を図る。 ○観光客はもとより、市民や県民にも再度松江城の歴史的価値や構造的特徴を知ってもらうために周知していく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	アプリの利活用に向けた広報		
	通年	施設周遊用ARカード配布		
	通年	AR周知チラシの配布		
	通年	VRスコープの販売		

本事業に関する主要データ

共創の状況	委託
-------	----

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	900		
使用料及び賃借料	145		
事業費計		1,045	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模であり、多様な産業や国内外につながる交通・物流インフラを有している。これらの高いポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代表する拠点づくりを進める。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		松江市宿泊客数（万人）		211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)		1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域観光局が実施する観光振興事業に対する負担金 ○国内誘客対策事業（国内観光プロモーション、三大都市圏等への圏域PRプロジェクト、圏域観光再生支援プログラム） ○圏域観光の魅力アップ事業（観光客受け入れ体制の充実）
------	--

事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業		○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業		○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

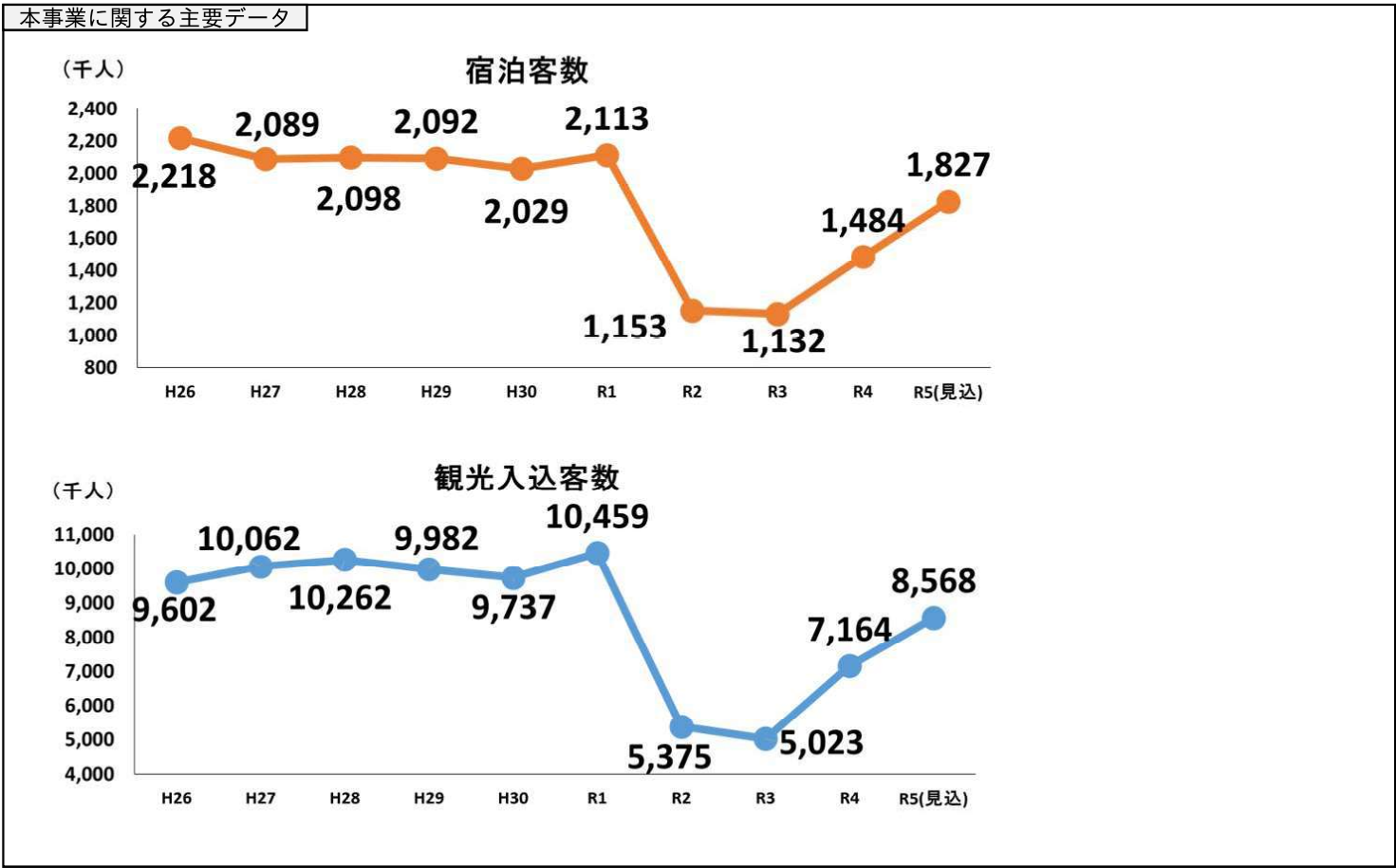
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		4,886	2,904
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,886	2,904
歳入合計		4,886	2,904

課題	○圏域が有する多彩な観光資源を効果的に活用し、誘客につなげる必要がある	方向性	○圏域の魅力発信・誘客を図るため、5自治体、経済界、観光協会の連携を強化する
----	-------------------------------------	-----	--

観光部観光振興課 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	東アジアをターゲットとしたインバウンド対策	7月	総会
	通年	大阪・関西万博からの誘客を図るための旅行商品の造成		
	通年	広域連携によるプロモーション		
	随時	理事会、観光振興課長会		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,904		
事業費計		2,904	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光推進体制強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	（一社）松江観光協会の運営体制を強化し、「観光地域づくり」の司令塔としての役割を担う自立性の高い組織を確立する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光消費額（億円）	562	645	666	750
	年間宿泊客数250万人、観光消費額750億円を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光消費額ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光消費額：2029(R11)年
	MATSUE観光戦略プラン推進委員会において「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の進捗状況の評価・検証を行う。 （一社）松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制の強化に対して財政的・人的支援を行う。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	※「観光推進体制検討事業費」において実施 ○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催 ○令和5年度アクションプランの策定 ○観光協会の組織戦略策定支援 ○新たな観光財源の確保に向けた検討（宿泊税導入の検討）	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（プランの進捗管理） ○令和6年度アクションプランの策定 ○松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制強化の支援	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（プランの進捗管理） ○令和7年度アクションプランの策定 ○松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制強化の支援
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	0	12,666
	国・県支出金	0	6,000
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	0	6,666
歳入合計		0	12,666

課題	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の将来像を具現化するための組織づくり。	方向性	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」を市民や観光関係事業者等と共有し、地域一体となった観光振興の機運を醸成する。 ○（一社）松江観光協会の組織戦略に基づき、観光協会と行政との役割の整理、専門人材の確保やプロパー職員の採用、DMO化による組織体制の強化などの取組を支援する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	松江観光協会の組織体制強化支援		
	7月～8月	MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催		

本事業に関する主要データ

（一社）松江観光協会の体制を強化し、データに基づく戦略を実行できる自立性の高い組織を確立することで、「観光地域づくり」の司令塔としての役割を担う。



目指すべき組織（観光庁の登録DMO）

観光地域づくり法人(DMO)：
Destination Management/Marketing Organization

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、各種データに基づいたアプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人

観光振興によって地域の活性化を図るためには、多様化する旅行ニーズへの対応やインバウンド需要の取り込みを通して、地域の「稼ぐ力」を引き出すことが必要であり、その司令塔となる組織（DMO）が必要。
松江市においては、（一社）松江観光協会がその役割を担う。

➡ 3年間かけて組織体制を強化

令和6年度	令和7年度	令和8年度
- マーケティング機能の導入 - 地域マネジメント ・地域内の人材や事業の可視化と情報共有 - イベントの効果検証 - 候補DMOとして登録	- 専門人材の配置 - プロパー職員の確保・育成 ・データを基にした施策立案と実行できる体制の確立	- 登録DMOとして登録 - 各施策の取組強化

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	141		
旅費	197		
需用費	110		
役務費	5		
委託料	133		
使用料及び賃借料	80		
負担金補助及び交付金	12,000		
事業費計		12,666	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町・水の都魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」「水の都」にスポットを当て、ブランド力向上を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	令和5年2月に策定した観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。

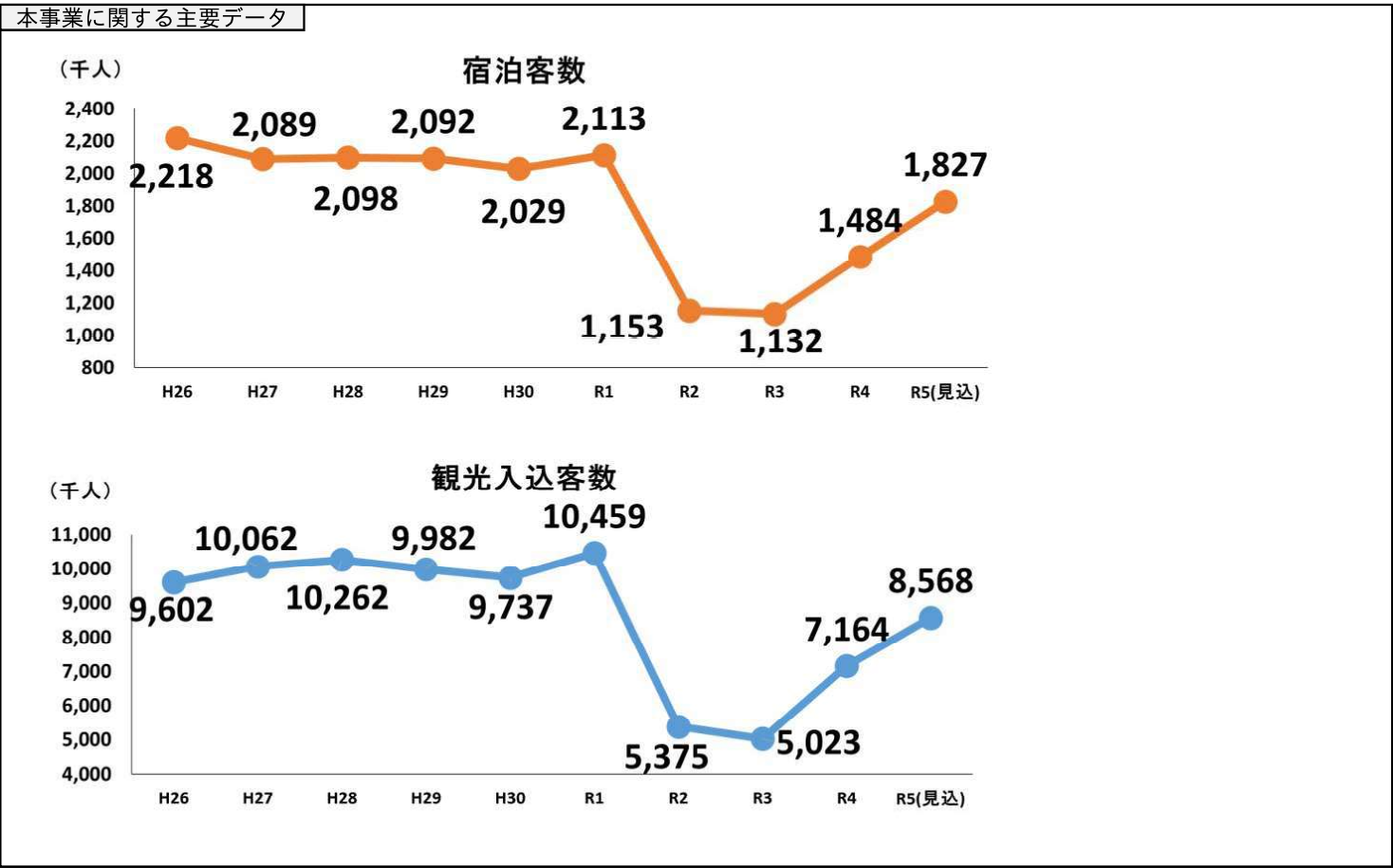
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○国宝松江城・お城まつり ・桜咲く松江城を舞台に桜木のライトアップやステージ企画を実施 ○国宝松江城ライブ ・松江城にて人気アーティストによる特別ライブを実施予定（3月20日） ○武者のまち発信事業 ・松江城で武者による観光客へのおもてなしを実施 ○ヘルスツーリズム ・癒しと健康増進をテーマにモニターツアーを実施予定（3月上旬予定） ○情報発信事業 ・閑散期（12月～2月）の誘客促進と魅力発信のため、新しく冬季専用のHPを作成 ・松江の夕日のブランド価値を高めることを目的に、HP作成やキービジュアルなどを作成	○桜と武者のシーズン2024開催 ・桜木のライトアップや「武者」をテーマとしたイベント実施で桜咲く松江城を演出 ○松江城ステージイベント ・夜間のステージイベント ○武者のまち発信事業 ・松江城での武者によるおもてなし ○情報発信事業 ・松江の夕日のブランディング事業 ・人気タレントを活用した情報発信 ○A Iを活用した周遊促進事業 ・J R西日本と連携し、周遊促進を目的にした観光アプリの活用	
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		47,000	60,000
財源内訳	国・県支出金	23,500	30,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	23,500	30,000
歳入合計		47,000	60,000

課題	○国内外における知名度不足 ○魅力ある観光素材のPR不足	方向性	○ユニークで多彩な観光資源を活用した事業を展開するとともに、マーケティング・プロモーションの強化 ○魅力ある観光素材の磨き上げ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江城等での武者のおもてなし	秋	松江城夜間ステージイベントの開催
	通年	情報発信事業		
	通年	AIを活用した周遊促進事業		
	春	桜と武者のシーズン2024		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	12,000		
負担金補助及び交付金	48,000		
事業費計		60,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水郷祭補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へPRし観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数(万人)	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	○夏の風物詩として長きにわたって市民に親しまれ、本市最大の人出で賑わうイベントである松江水郷祭は、観光誘客や賑わいの創出により地域の活性化につながっている。 ○松江水郷祭を主催する松江水郷祭推進会議（松江市・松江商工会議所・松江観光協会・青年会議所ほか）に補助金を交付する。 ○社会実験：物価高騰やコロナ禍による企業業績の低迷などにより、これまでの企業協賛や市財政、募金に頼る仕組みでは継続が困難になっており、新たな運営モデルを構築するため、令和5年度から2年間社会実験として実施する。

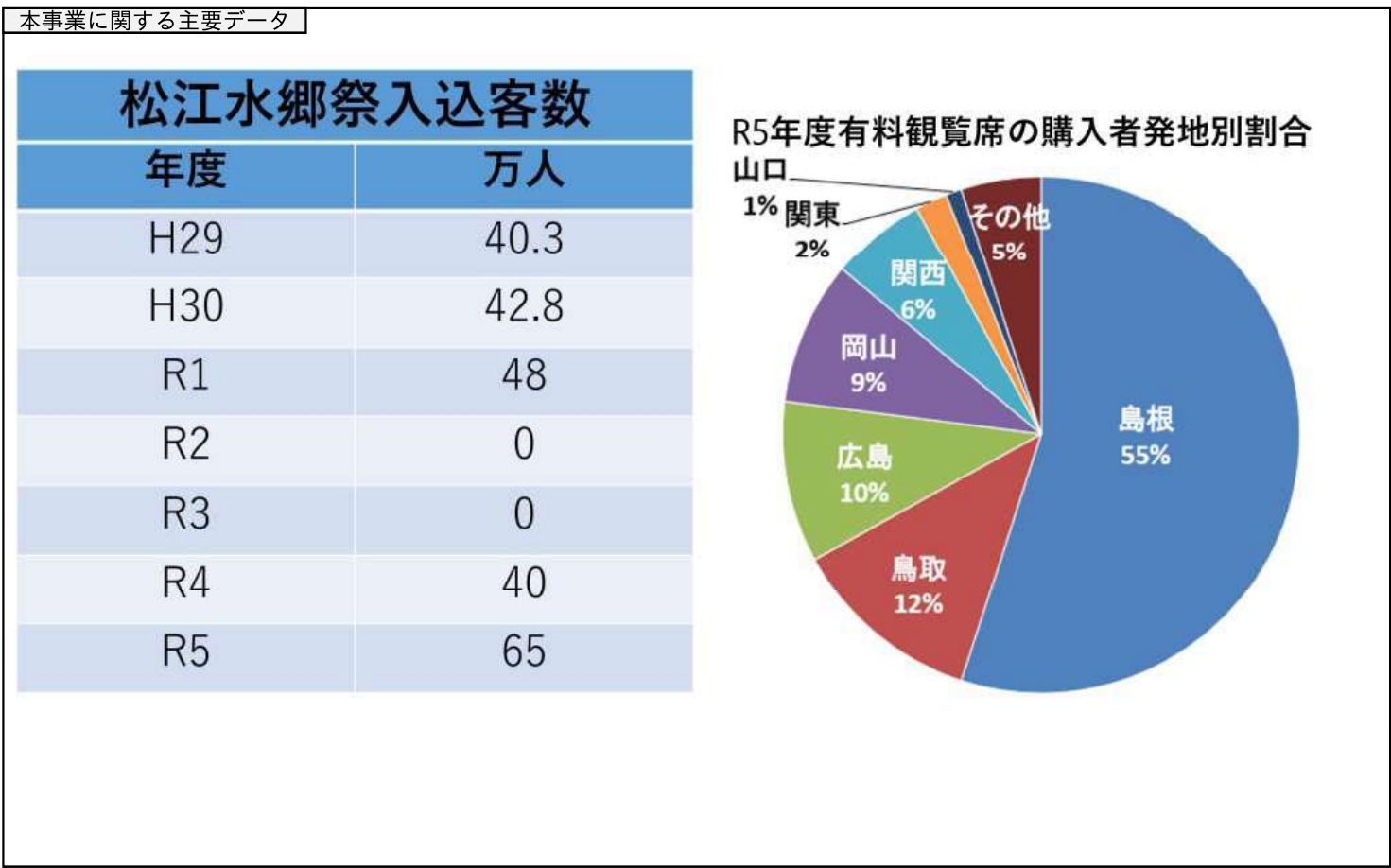
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○開催日：8月5日(土)・6日(日) ○開催内容：安定的な財源の確保など持続可能な開催モデルを検討するため、花火の発数と有料観覧席の席数を大幅に拡大し、社会実験として実施 ・湖上花火大会（両日10,000発） ・有料観覧席（両日約13,000席） ※販売実績としては、2日間合計約26,000席の7割に留まった。 ・松江だんだんまつり ・商店街イベントなど ○入込客数：2日間で65万人	○開催日：8月3日(土)・4日(日) ○内容：安定的な財源の確保など持続可能な開催モデルを検討するため、社会実験として実施 ・湖上花火大会（3日10,000発・4日11,000発） ・松江だんだんまつり ・商店街イベントなど ○有料観覧席（席数、料金、運営方法、販売方法など）について、松江水郷祭推進会議にて検討する。	○開催日：8月上旬 ○内容：下記内容について、松江水郷祭推進会議にて検討する。 ・湖上花火大会 ・有料観覧席 ・松江だんだんまつり ・商店街イベントなど
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		17,000	17,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	8,500	0
	一般財源	8,500	17,000
歳入合計		17,000	17,000

課題	○安定的な財源の確保 ○有料観覧席完売に向けたPR及び営業活動の強化	方向性	○花火の魅力を高め、日本有数の花火大会を目指す。 ○安定的な財源の確保など持続可能な開催モデルを検討するため社会実験として実施 ○市民が誇れる祭に育てるとともに、更なる観光誘客と賑わい創出により地域経済の活性化を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月3・4日	松江水郷祭開催		
	8月～9月	アンケート調査の実施		
	秋	松江水郷祭推進会議総会		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	17,000		
事業費計		17,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江武者行列事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	桜咲く春の城下町ならではの時代行列など、歴史を感じる行事を行うことで、城下町松江の観光PRにつなげ、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	平成15年度より、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城するシーンを表現した市民参加型イベント。毎回、前年度に参加者募集、練習会、着付け講習会などを実施し、本番に向けた準備を行う。お城まつりに合わせ武者をテーマにイベントを実施し誘客を図る。 ※H31年度：観客数14万人、行列参加者数255人

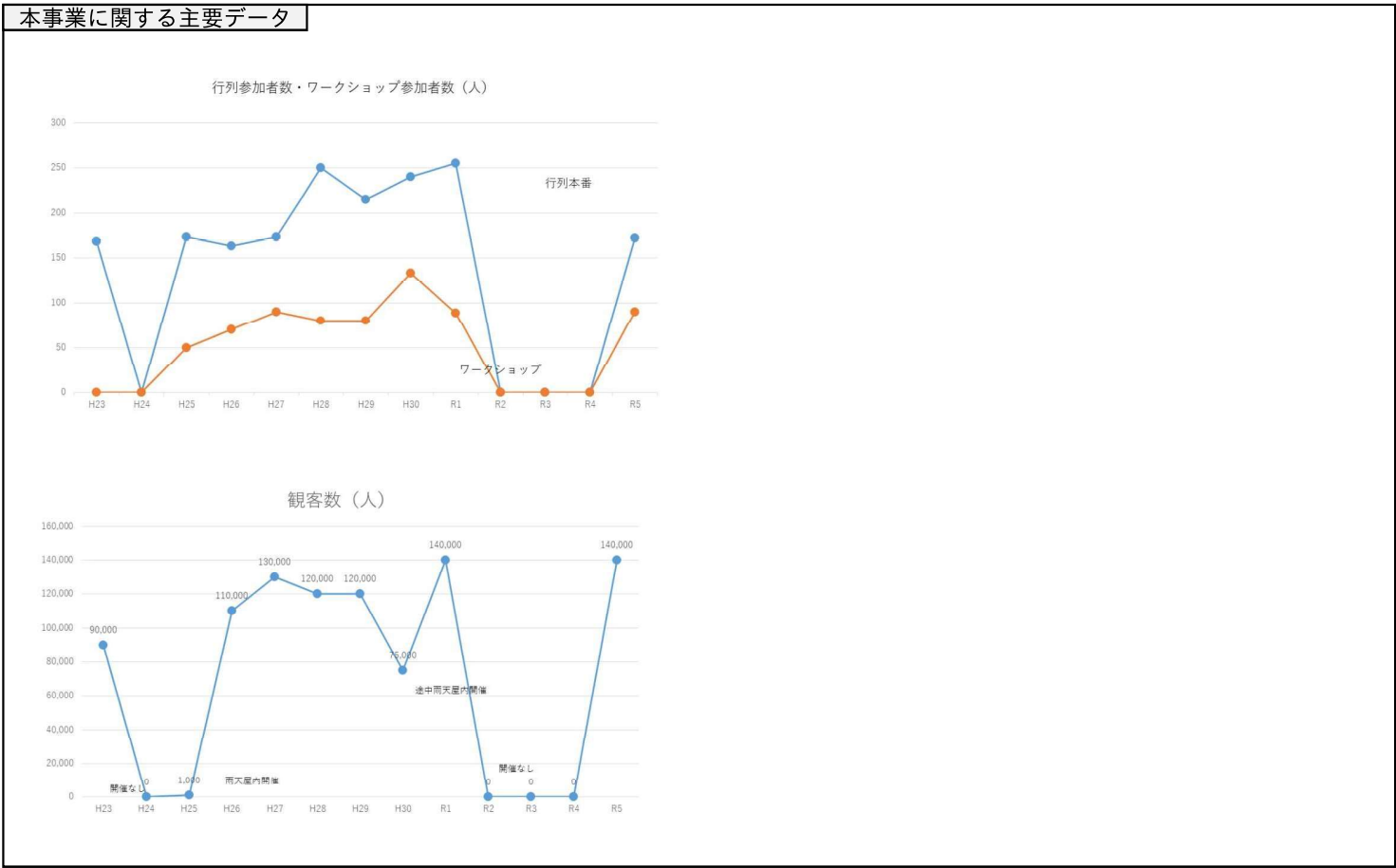
事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施		○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施		○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		12,000	12,400
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		6,200
	一般財源	12,000	6,200
歳入合計		12,000	12,400

課題	○城下町松江のPRや観光誘客につながるよう、イベントの魅力向上を図る必要がある。	方向性	○市民や観光事業者と連携し、より効果的な誘客イベントとなるよう見直しを行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	イベント実施		
	10月	募集開始		
	3月	関連イベント開催		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,400		
事業費計		12,400	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水燈路事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	城下町松江の夜の賑わいを創出し、宿泊客数の増加及び夜の消費喚起につなげる	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江城や塩見縄手周辺のライトアップ、市民の手作り行灯などで灯りの演出を行うとともに、音楽や伝統芸能などのイベント、屋台などによる賑わい創出を行う。

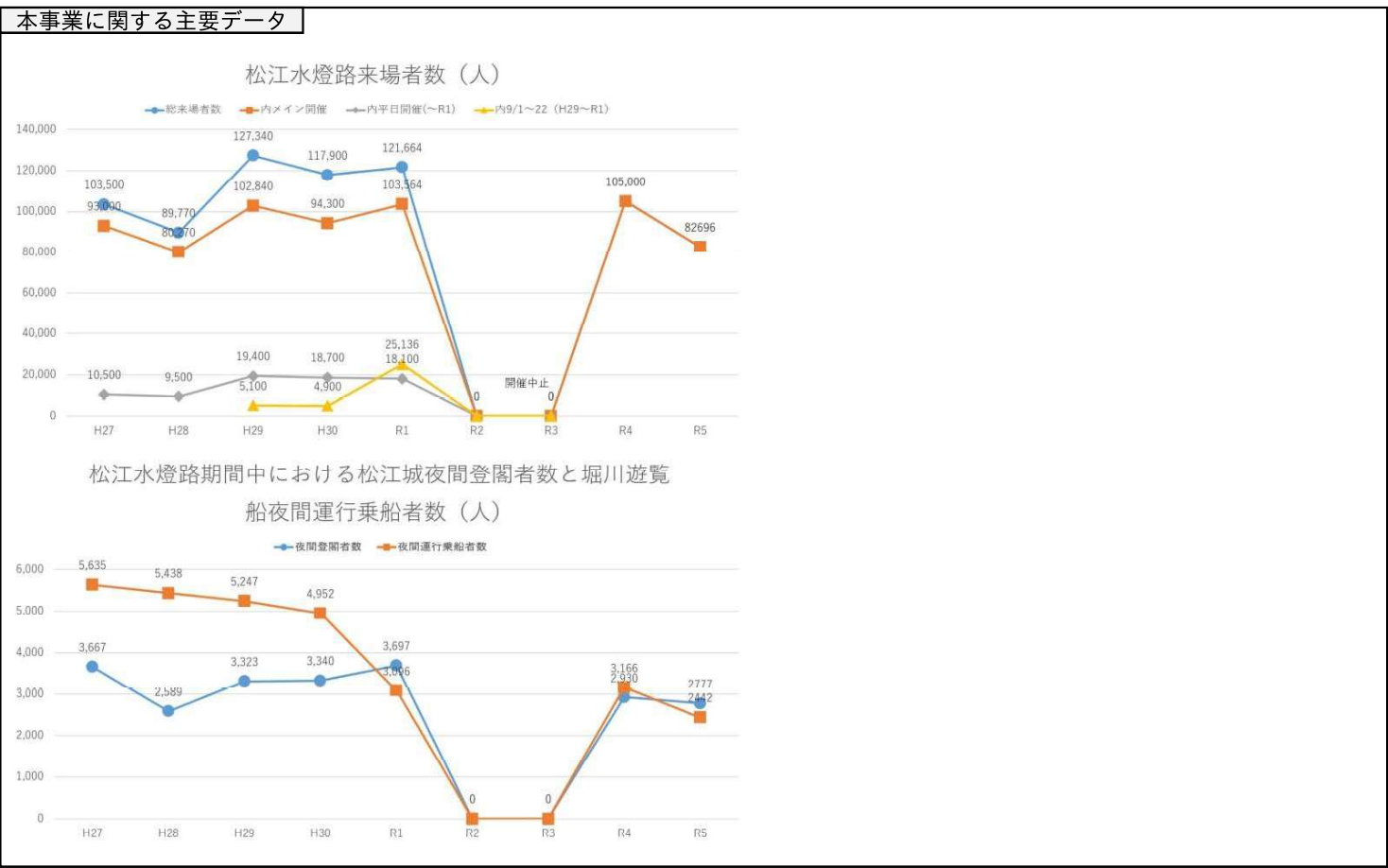
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	22,000	22,000
	国・県支出金	11,000	11,000
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	11,000	11,000
歳入合計		22,000	22,000

課題	○訪れた観光客の満足度を高めるため、更なる磨き上げが必要	方向性	○観光客の満足度アップを図るため、イベント内容の検討を行う。 ○夜の賑わい創出に向け、各種団体、観光事業者等との連携を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月28日	イベント開始		
	10月20日	イベント終了		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,000		
事業費計		22,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江境港隠岐観光振興促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江・境港・隠岐を一つの圏域ととらえ、一体となって観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	境港市及び隠岐4町村との連携強化及び松江市への誘客数増加 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市、境港市、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村の6市町村で松江境港隠岐観光振興協議会を組織し、連携したプロモーションを実施する。

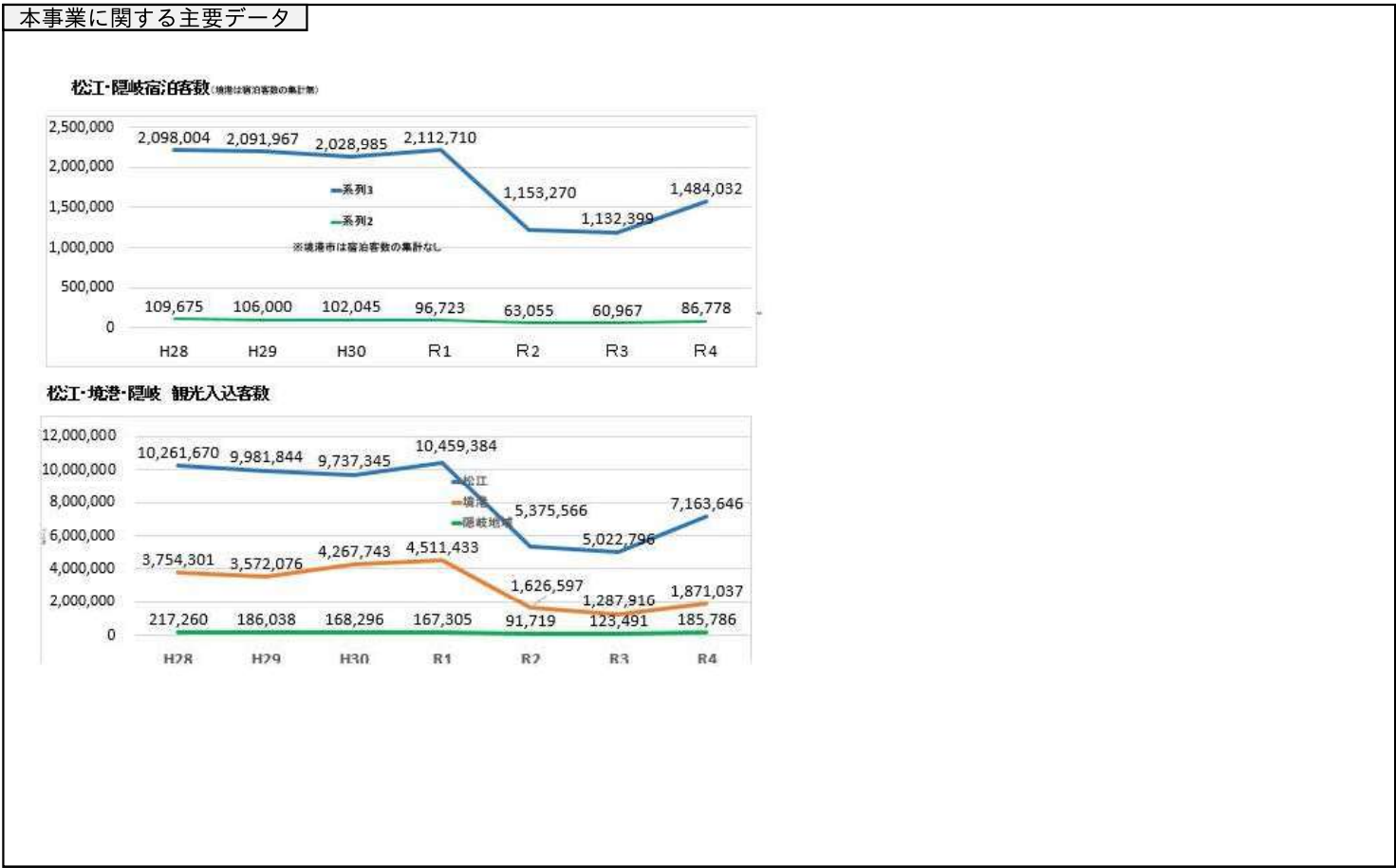
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信
	達成度		
	1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	349	397
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	349	397
歳入合計		349	397

課題	松江、境港から隠岐への旅につなげる効果的な情報発信が必要。	方向性	協議会との連携を強化し、効果的な誘客企画を実施する。
----	-------------------------------	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	課長会		
	6月	総会（海士町）		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	97		
負担金補助及び交付金	300		
事業費計		397	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	嫁ヶ島活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	嫁ヶ島を活用した観光振興事業を実施するほか、松江市内での滞在時間の延長、宿泊客の増加を目的として、夜の観光の魅力づくりの一環として水の都・松江らしい景観を演出するために嫁ヶ島のライトアップするもの。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
		観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029 (R11) 年、観光入込客数：2029 (R11) 年
	1. 嫁ヶ島への渡航イベントやPR事業など嫁ヶ島を活用した観光振興事業に補助。 ・歩いて渡る嫁ヶ島 (8月) ・万灯会 (9月) ・仲秋の嫁ヶ島 (10月) 2. 嫁ヶ島ライトアップ常設化に伴いライトアップを実施 (4月～11月) するための渡船と発電、及び機器の管理を業務委託。

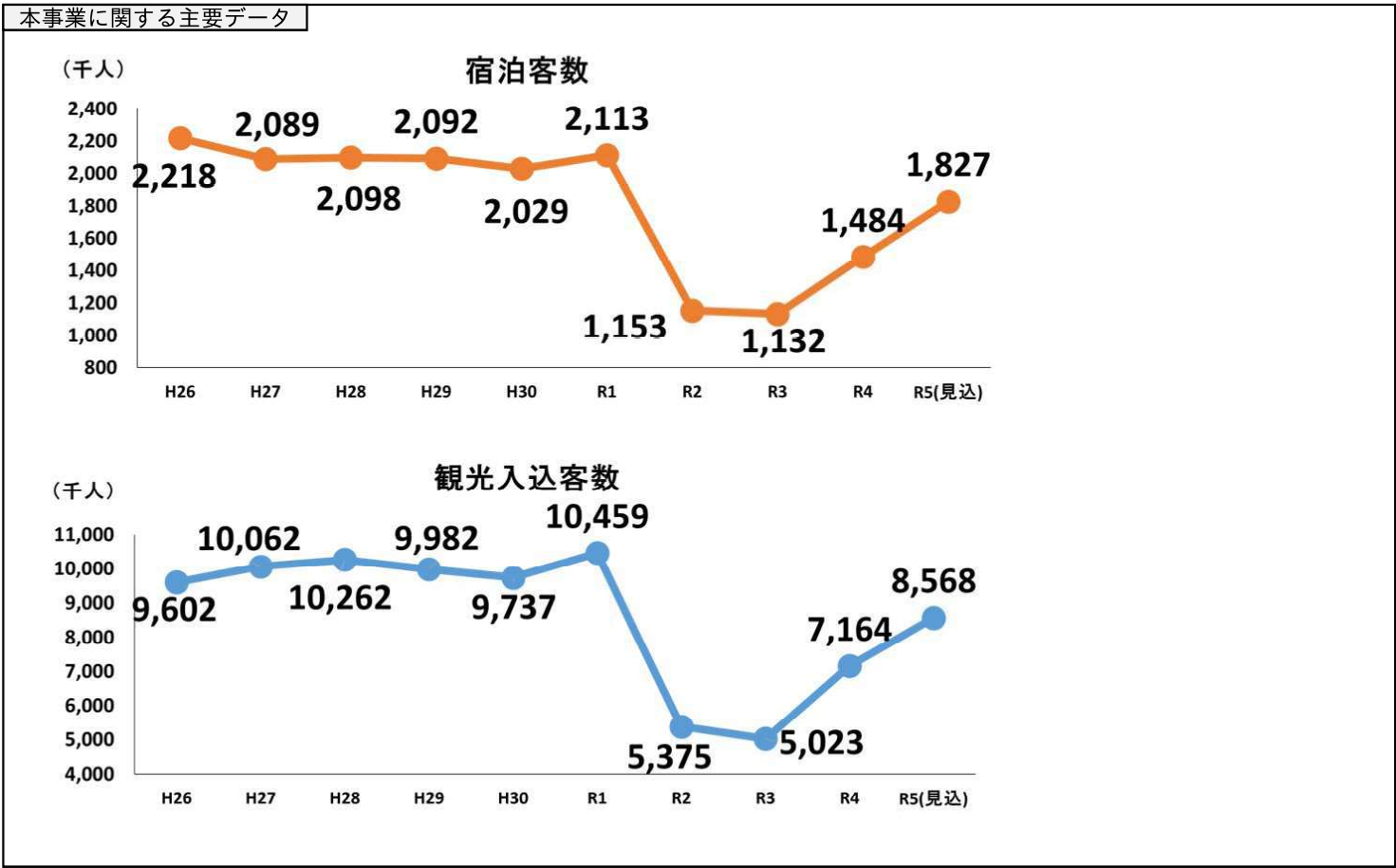
事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 - 万灯会（参加者615名） - 歩いて渡る嫁ヶ島（参加者258名） - 仲秋の嫁ヶ島（参加者646名） ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託		・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 - 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託		・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 - 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5	R6
		決算見込	当初予算
事業費		2,210	3,000
財源 内訳	国・県支出金		1,500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,210	1,500
	歳入合計	2,210	3,000

課題	・嫁ヶ島を中心とした観光イベントを行い、水郷祭、大茶会、水燈路など市のイベントとの連携した事業で、嫁ヶ島の観光活用を図る。 ・市も連携してPRなどの取り組みを行い、更なる集客を図る必要がある。	方向性	・嫁ヶ島の景観維持・観光活用を目的に行われる各種事業を広く市民や観光客にPRし、水の都松江の観光スポットとしての活用を図っていく。 ・大橋川の改修にともない水辺の利活用について、さまざまな検討、取り組みがなされており、関係する団体との連携を図っていく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～11月	嫁ヶ島ライトアップ		
	8月	歩いて渡る嫁ヶ島		
	9月	万灯会		
	10月	仲秋の嫁ヶ島		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,500		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計		3,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江しんじ湖温泉振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江しんじ湖温泉のブランド力向上と温泉街の環境整備を行い、観光誘客を促進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人の達成、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江しんじ湖温泉の情報発信及び温泉街の環境整備を実施する2団体に補助金交付 ○松江しんじ湖温泉旅館協議会 ○松江しんじ湖温泉振興協議会 松江しんじ湖温泉まちづくり計画の実施に向けた補助金交付

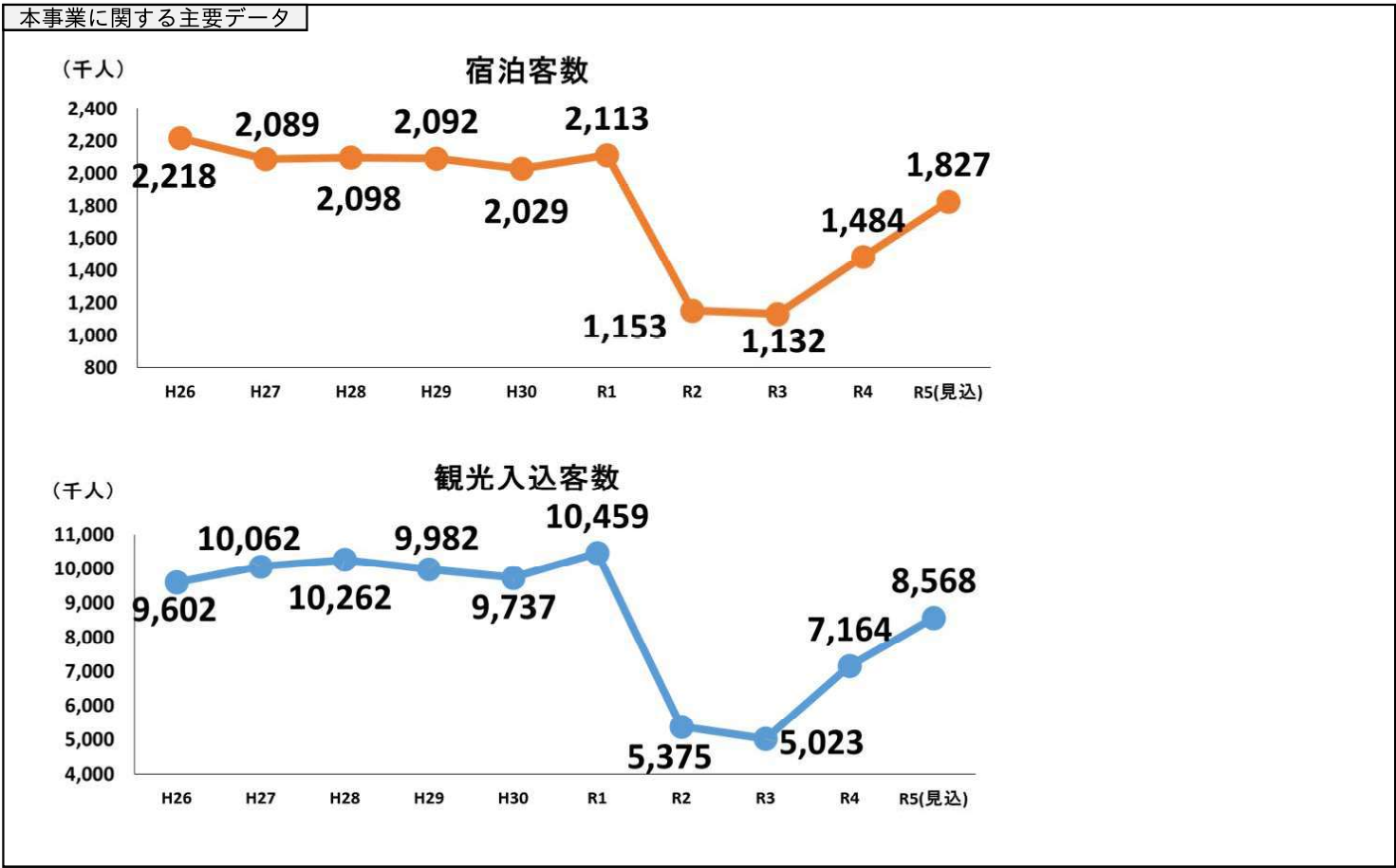
事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業		○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業		○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,922	2,922
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,922	2,922
歳入合計		2,922	2,922

課題	○松江しんじ湖温泉の宿泊客数の増につなげるため、ブランド力を高める必要がある。。	方向性	○宿泊施設等との連携を図り、ユニバーサルツーリズムの推進を通じた効果的な誘客企画やプロモーションを実施する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江しんじ湖温泉に関するプロモーション		
	通年	温泉街の環境整備等		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,922		
事業費計		2,922	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	島根半島等地域魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かし、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かした観光誘客を図るために、行政、地元の関係団体で組織する大山隠岐国立公園満喫プロジェクト島根半島東部協議会の取組み（ソフト事業）に対し補助金を交付する。

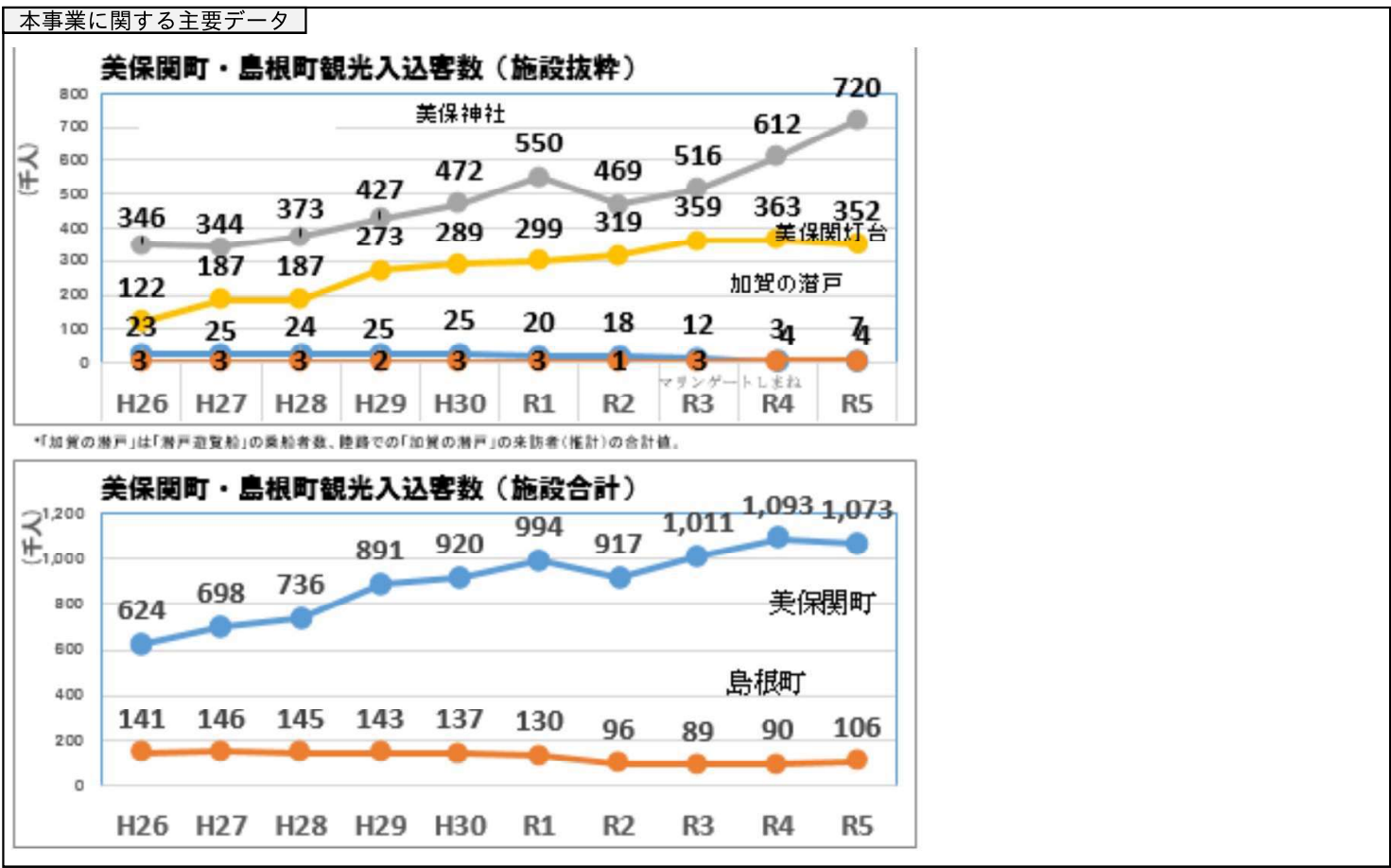
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,000	2,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		1,000
	一般財源	2,000	1,000
歳入合計		2,000	2,000

課題	○観光客受入環境の整備、地元関係団体との連携強化が必要 ○島根半島・宍道湖中海ジオパークの事業との連携を図る必要がある	方向性	○地元関係団体等との連携を図り、効果的なプロモーションや誘客企画、受入環境整備を進める
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	総会		
	1月	修景伐採		



共創の状況	協議会
-------	-----

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計		2,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	ジオパーク推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ジオパークの取組を通じて、大地の成り立ちと生態系、歴史文化を学び、見つめ直すことで、ふるさとへの誇りと愛着を高める。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		松江ビジターセンター年間来場者数（人）	5,200	5,300	5,400	5,800
	目標（何を達成するのか）	認定ガイド総数（延べ人数）	56	75	80	100
	・地球の貴重な遺産をまもり、次世代に引き継ぐ。 ・持続可能な地域づくりのために挑戦する人材を育てる。 ・多くの来訪客にジオ・エコ・ヒトを伝えることで、地域振興や観光振興につなげる。	ジオサポ年間登録者数（人）	435	460	465	500

事業概要	（数値目標の目標年度） 松江ビジターセンター年間来場者数及び認定ガイド総数、ジオサポ年間登録者数：2029（R11）年度
	本ジオパークは、ふるさとへの誇りと愛着を高め、人材育成を促進するため、保全・保護や教育などの活動に取り組むとともに、観光や産業などの地域振興につなげる活動に取り組んでいる。神話の地ならではの「出雲国風土記の自然と歴史に出合う大地」をテーマに、新たに策定した推進行動計画（令和4年度から4年間の計画期間）にもとづき、官民挙げた取り組みを推進していく。 また、令和3年度日本ジオパーク再認定審査で指摘された課題などについて、令和7年度に行われる次の再認定審査までに改善を図る。

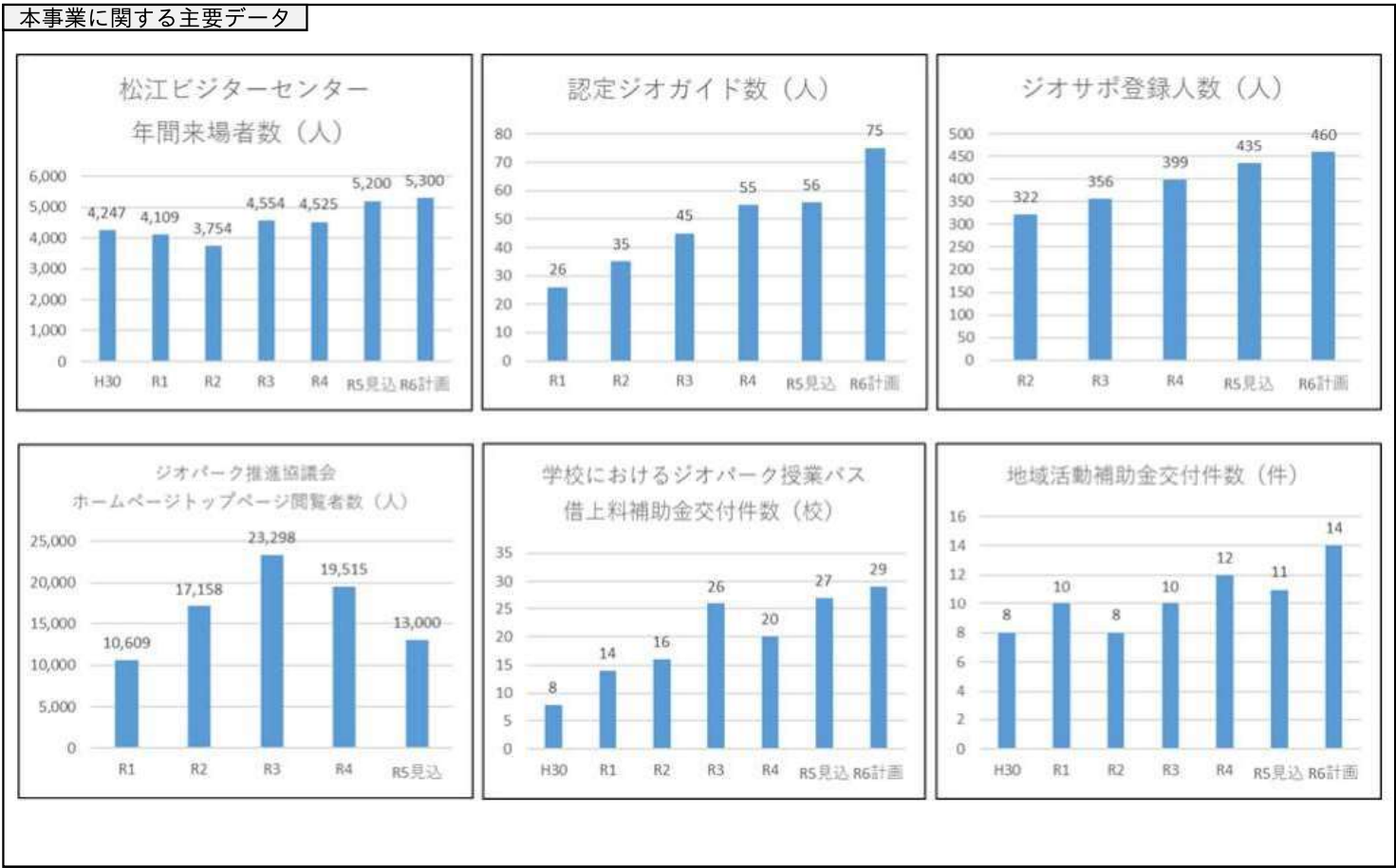
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・ジオサイト、歴史・文化及び生物・生態サイトのデータベース化 ・保全管理計画の策定 ・ブランディング戦略の策定 ・自然災害対策に特化した教育プログラム作成 ・パートナーシップ協定締結（累計11件） ・看板整備（計3枚） ・ジオガイドの養成講座、スキルアップ講座の開催 など	・ジオツアー造成・販売 ・自然体験イベント、ツアーの開催 ・ジオパークフォトコンテストの実施 ・看板整備 ・パートナーシップ協定締結 ・ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など	・日本ジオパーク再認定審査 ・次期推進行動計画（R8～11）の策定準備 ・ジオツアー造成・販売 ・自然体験イベント、ツアーの開催 ・看板整備 ・パートナーシップ協定締結 ・ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		10,709	10,935
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	
	その他	10,709	10,935
	一般財源	0	0
歳入合計		10,709	10,935

課題	・新型コロナが落ち着いたことによる地域内外からの観光誘客の促進 ・ブランディング戦略にもとづくジオパークの認知度向上とブランド価値の定着 ・より多くのジオパークサポーターを募ることでの自主財源の獲得 ・全国のジオパークとの連携強化	方向性	令和4年度から4年間の計画期間で策定した推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）にもとづき、松江・出雲両市の連携を図り、島根大学などの教育機関や地域団体・住民、企業、全国のジオパークなどの協力を得ながら着実に活動を展開し、観光振興や地域振興につなげていく。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	ジオパーク推進協議会臨時総会の開催	通年	ジオパークフォトコンテストの実施
	3月	ジオパーク推進協議会定例総会の開催	通年	看板整備
	通年	ジオツアー造成・販売	通年	パートナーシップ協定締結
	秋	自然体験イベント、ツアーの開催	通年	ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,884		
職員手当等	539		
共済費	428		
旅費	69		
負担金補助及び交付金	8,015		
事業費計		10,935	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	W i ー F i スポットサービス管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市内にフリーW i ー F i スポットを設置し、国内外からの観光客の利便性を高める	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	○市内にフリーW i ー F i スポットを設置し、観光客が情報収集や発信しやすい環境を整える スポット数49カ所

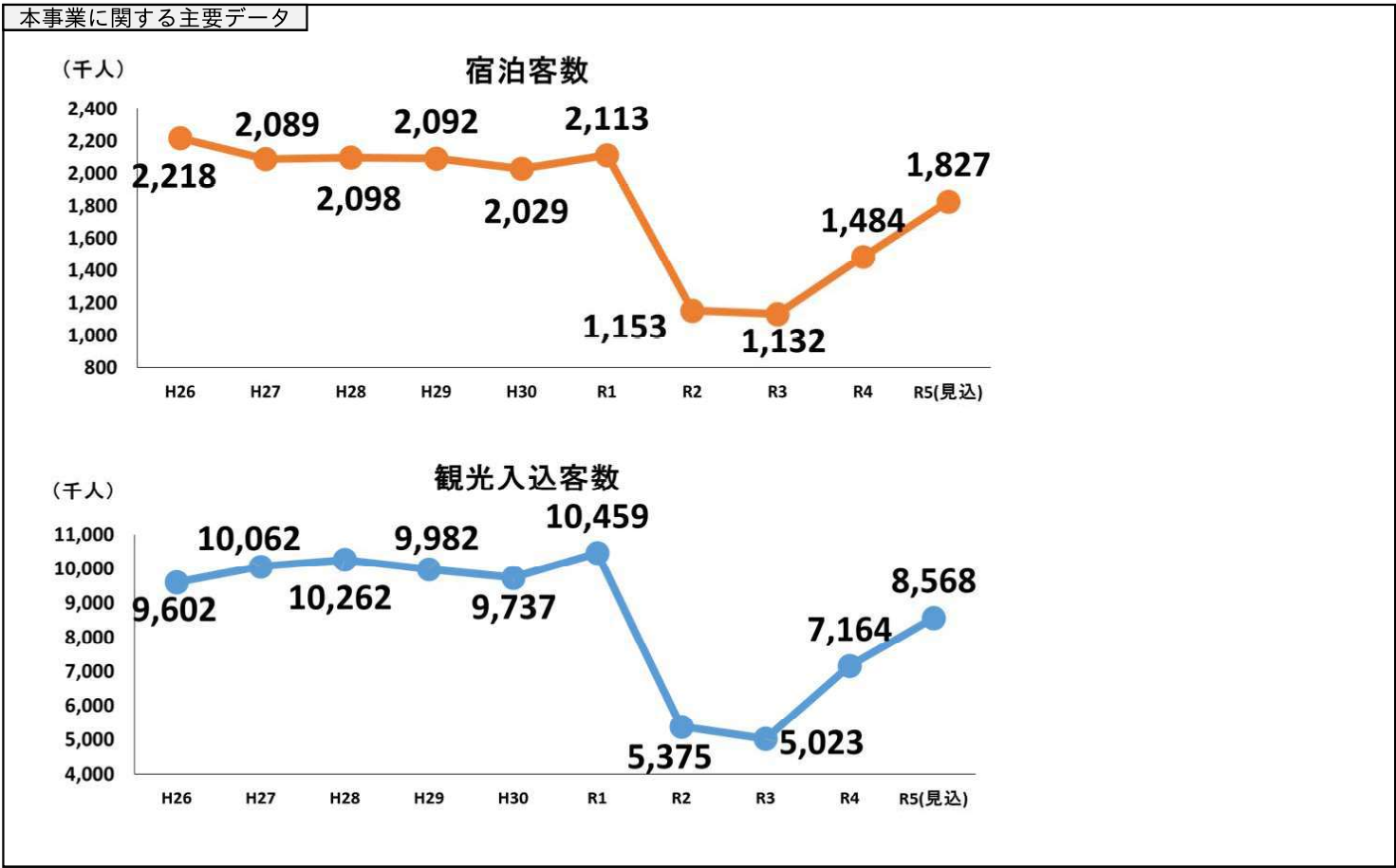
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○フリーW i ー F i スポット49カ所分の運営	○フリーW i ー F i スポット49カ所分の運営	○フリーW i ー F i スポット49カ所分の運営
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		1,827	1,828
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,827	1,828
歳入合計		1,827	1,828

課題	・通信速度や同時接続数が十分でないスポットもあり、増強・増設の検討が必要。 ・継続したWi-Fiサービスの提供	方向性	利用状況の分析やニーズの把握を行い、必要に応じて増強・増設を検討する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	Wi-Fiサービスの提供		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	861		
負担金補助及び交付金	967		
事業費計		1,828	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	美保関観光振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。	項目（成果指標） 年間宿泊客数（万人）	R5実績見込 183	R6計画 211	R7計画 219	目標値 250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 美保関町の観光振興を目的とする美保関地域観光振興協議会に対し、事業及びその実施に必要な人件費などの経費への補助を行う。美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。美保関特有の自然環境や美保神社、青石畳通りなどの既存観光資源の魅力度を再認識し、未活用資源の顕在化を図るとともに、体験プログラムの充実など観光客のニーズに合わせた新たな付加価値を加えるなど、滞在型観光の促進を図る。
------	--

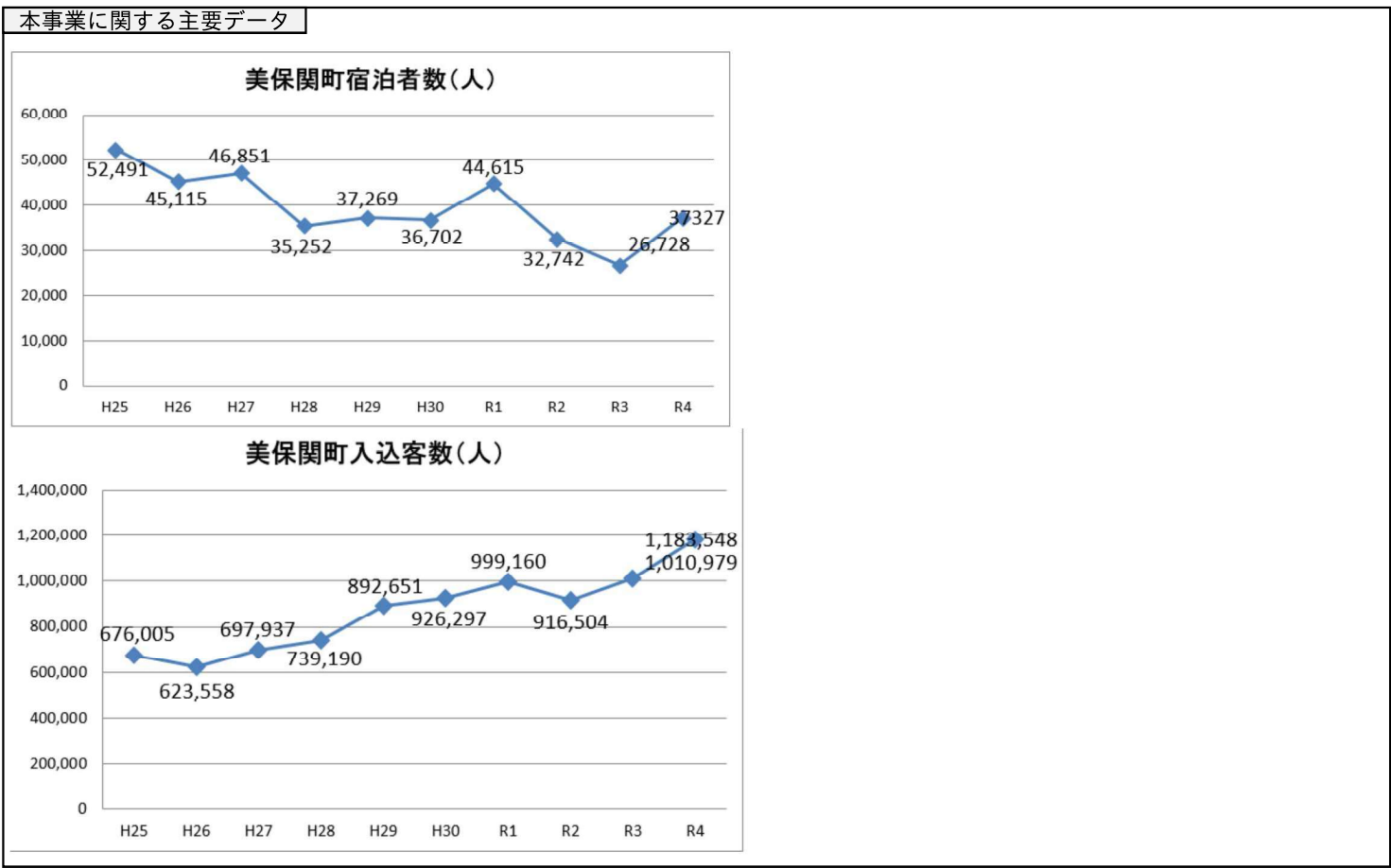
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		11,610	11,610
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	11,610	11,610
歳入合計		11,610	11,610

課題	○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行っていくため、地域住民との連携強化が求められる。 ○地域における消費拡大の仕掛けづくり。	方向性	○美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。 ○自然資源を活かした体験型観光の推進。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付決定		
	3月	補助金確定		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,610		
事業費計		11,610	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	「怪談のふるさと松江」事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「怪談」という新しいテーマによる観光素材を利用して効果的に情報発信することで、新たな観光客層からの観光誘客を推進する。※令和元年度の松江怪喜宴来場者のうち52.6％が県外客（来場者アンケートより）。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	「松江怪喜宴」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）の開催。 ①松江怪談談義：小泉凡氏と観光大使木原浩勝氏による怪談対談 平成25年度開始 ②酒林堂八雲：観光大使茶風林氏（声優）企画演出による怪談朗読会 平成26年度開始 ○主催：松江怪喜宴実行委員会（市が事務局） ○実行委員会に補助金を交付する

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント。令和5年10月27日に開催し、47名が来場した。 ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会。令和5年10月28日・29日に開催し、合計で484名が来場した。	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会
	達成度		
	1計画目標に向けて順調に推移		

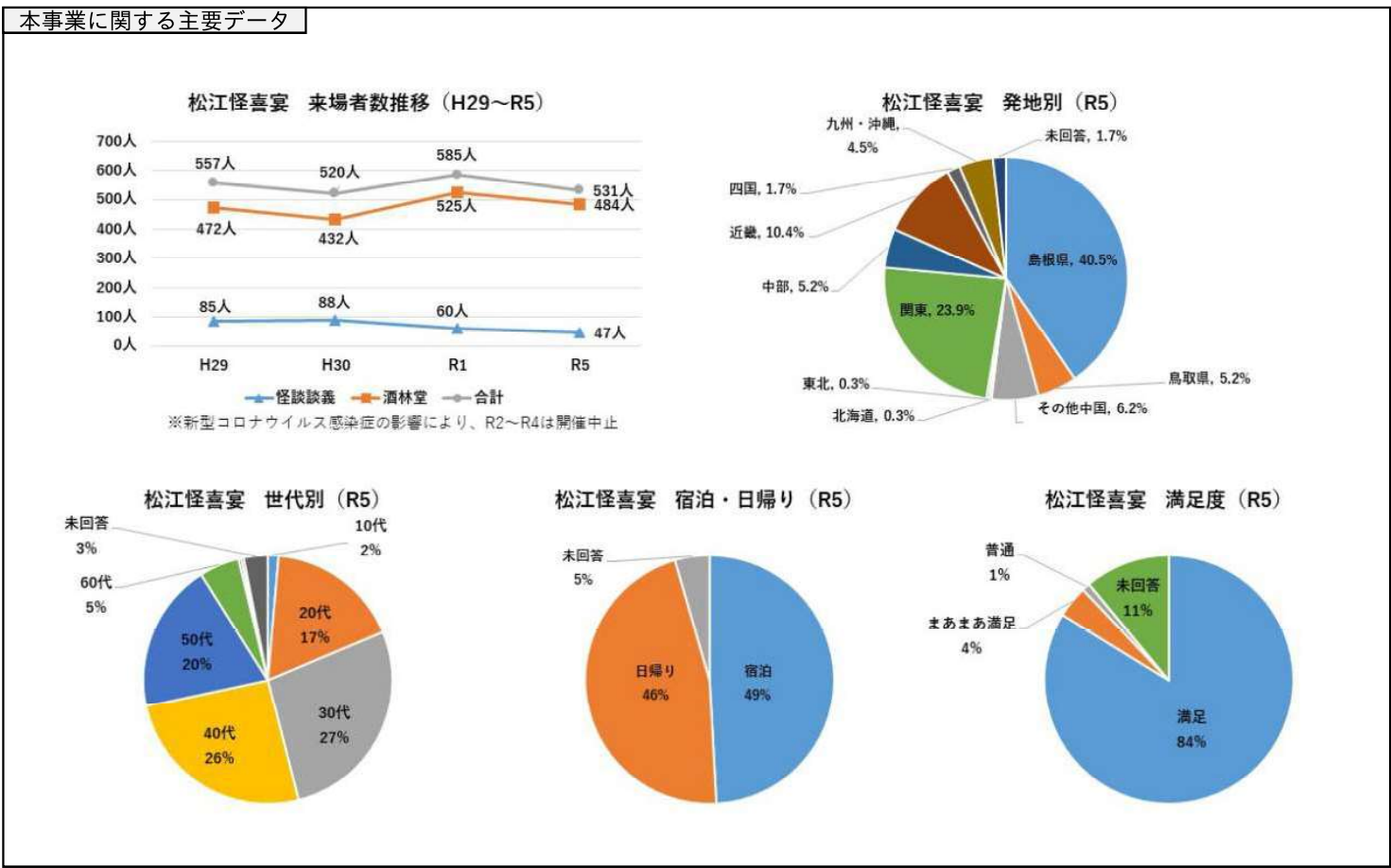
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,200	2,200
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,200	2,200
歳入合計		2,200	2,200

課題	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂八雲）の参加者は5割以上の参加者が県外観光客であり、「怪談を活用した新たな観光誘客」という目的を達成しているものの、まだ「怪談のふるさと松江」の認知度が高いとは言えない。	方向性	○今後も人気の声優を活用し、怪喜宴の付加価値を高めたり、新たな企画を展開することで、「怪談のふるさと松江」の知名度を高める。
----	--	-----	--

観光部観光振興課 「怪談のふるさと松江」事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9～10月	松江怪喜宴開催（予定）		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,200		
事業費計		2,200	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	地域花火実証事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域花火の開催を支援し、地域の賑わい創出と地域コミュニティの活性化を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	地域の賑わい創出。					

事業概要	○地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。 ・補助率：事業費の1/2・上限20万円 ・交付対象者：地域花火の主催団体（町内会・自治会等）
------	---

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○地域花火実証事業補助金 ・補助実績：13団体 ・補助金交付額：200千円×12件＋180千円×1件＝2,580千円 ○効果検証（各地域にアンケート調査を実施） ・地域の賑わいの創出や他地域からの誘客に繋がったなどの効果があった。	○地域花火実証事業補助金 ・補助率：事業費の1/2・上限20万円 ・交付対象者：20団体（見込） ・予算額：20万円×20件＝400万円 ○効果検証 ・主催者や参加者へのアンケート調査を実施	R6年度の効果を検証し、今後の地域花火実証事業補助金について検討を行う。
	達成度		
	2計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,580	4,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,580	4,000
歳入合計		2,580	4,000

課題	○コロナ禍の影響等により地域の伝統行事やイベントが減少し、地域住民が集う場、賑わいの場が少なくなっている。	方向性	○地域花火の開催をきっかけとした地域コミュニティの活性化
----	---	-----	------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7～10月	地域花火の開催支援		
	11月～	効果検証		

本事業に関する主要データ
<参考：交付地域> - 秋鹿町 - 本庄町 - 八雲町 - 穴道町 - 鹿島町（御津地区・古浦地区） - 島根町（大芦地区・沖泊地区） - 美保関町（片江地区・七瀬地区） - 八束町逗江地区 - 東出雲町（揖屋地区・上分地区）

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計		4,000	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲記念館管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲の功績を後世に伝える施設として、小泉八雲の遺品、図書、資料等を収集、保管、展示を行う。多様な市民のニーズに応え、交流、発表、学びの場を提供する。	項目（成果指標） 来館者数（人）	R5実績見込 64,716	R6計画 80,000	R7計画 81,600	目標値 88,000
	目標（何を達成するのか）					
	・小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 ・適切な施設管理、運営を行う。 ・企画展などを開催し、情報発信を行う。					

事業概要	指定管理制度にて小泉八雲記念館の管理運営を行うもの。
	指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年間） ・本施設は、指定管理制度を活用し施設の活用を図っている。 ・小泉八雲の遺品、図書、資料等を活用し、企画展を開催する。 ・法定点検等施設管理を行う。

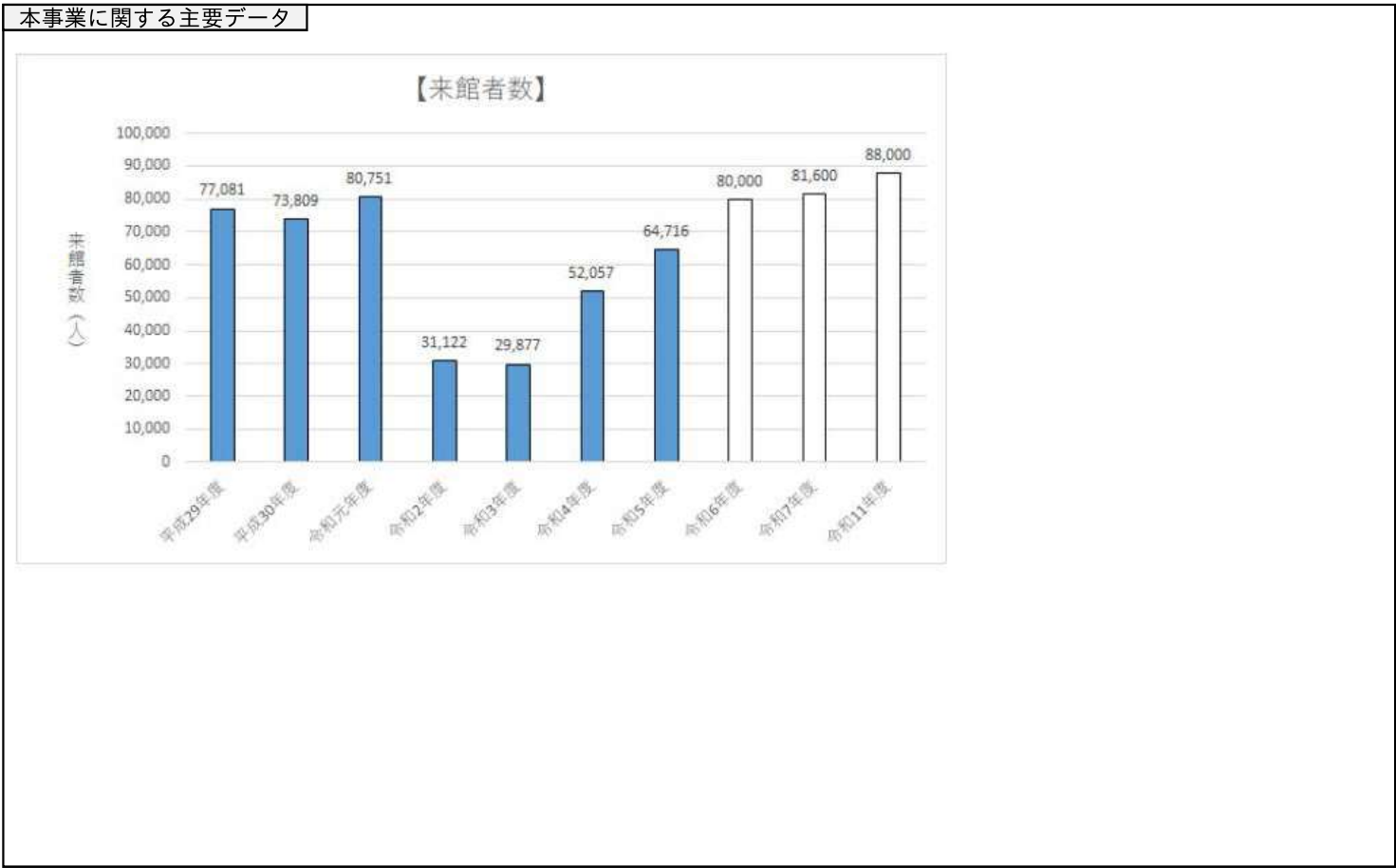
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	企画展1「アイルランド・日本交流美術展『KWAIDANーラフカディオ・ハーンとの邂逅』」 開催：令和5年6月27日～令和5年9月24日 企画展2「小泉清ーその生涯とコレクション展」 開催：令和5年10月6日～令和6年6月9日 指定管理料 20,032,000円 利用料金制へ移行	企画展「「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きる」（仮称）」 開催：令和6年6月～令和7年5月（予定） 指定管理料 25,319,000円	企画展 年1回程度 指定管理料 未定
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		24,030	35,318
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		10
	一般財源	24,030	35,308
歳入合計		24,030	35,318

課題	・人材育成 ・学芸部門の強化による調査研究機能の充実 ・国内外への情報発信 ・来館者数の確保 ・小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 ・隣接市有地の活用	方向性	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居とあわせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化施設として位置付ける。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～	企画展		
	6月～8月	令和7年度指定管理(非公募)に向けて準備		
	11月	令和7年度指定管理(非公募)11月議会議案提出		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,432		
共済費	592		
委託料	31,266		
使用料及び賃借料	28		
事業費計		35,318	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲旧居管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲が暮らした建物及び庭を保存し、その一部を観覧用に供することにより、小泉八雲に対する知識と理解を広め、文化振興に寄与することを目的とする。	項目（成果指標） 来館者数（人）	R5実績見込 29,874	R6計画 37,000	R7計画 37,800	目標値 41,000
	目標（何を達成するのか）					
	・小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 ・適切な施設管理、運営を行う。 ・広く情報発信を行う。					

事業概要	指定管理制度にて小泉八雲旧居の管理運営を行うもの。
	指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年間） ・本施設は、指定管理制度を活用し施設の活用を図っている。 ・法定点検等施設管理を行う。 ・国の史跡であることから、文化財保護法に基づき、適切な施設管理を行う。

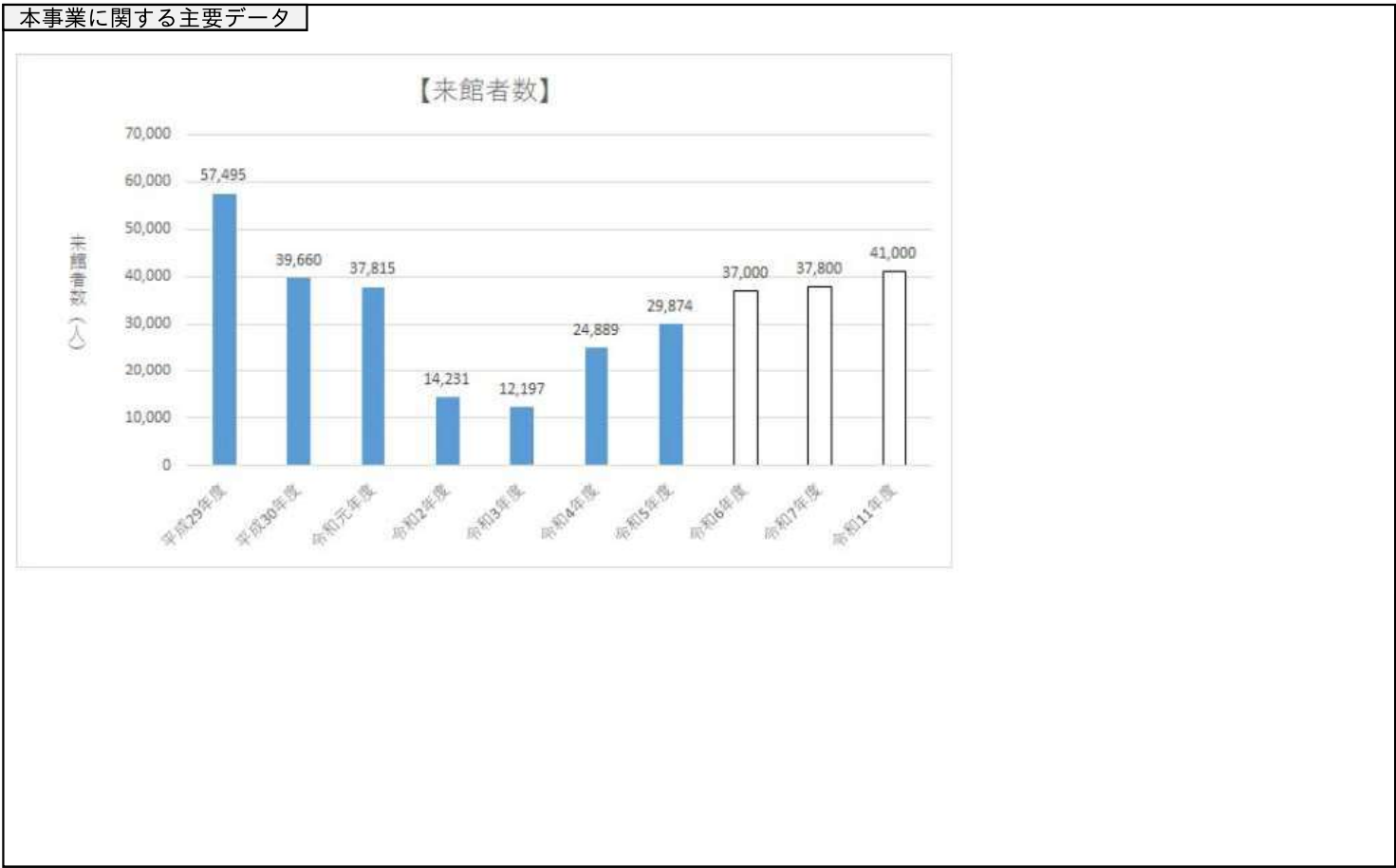
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	指定管理料 3,241,000円 利用料金制へ移行 ・畳替え	指定管理料 5,274,000円 ・襖補修	指定管理料 未定
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		3,552	5,687
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,552	5,687
歳入合計		3,552	5,687

課題	・人材育成 ・学芸部門の強化による調査研究機能の充実 ・国内外への情報発信 ・来館者数の確保 ・旧居未公開部分の公開 ・小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 ・隣接市有地の活用	方向性	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館とあわせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化施設として位置付ける。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～8月	令和7年度指定管理(非公募)に向けて準備		
	11月	令和7年度指定管理(非公募)11月議会議案提出		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	149		
委託料	5,538		
事業費計		5,687	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子どもから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れ、演劇の楽しさや感動を味わうことで豊かな暮らしのつなげるとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		観客数（人）			5,000	5,000
	目標（何を達成するのか）	来場者数（人）			13,000	13,000
	国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を提供することで、「まちそのものがアート」を実感していただく。					

事業概要	目標値の達成年度：令和7年度 令和7年度に開催予定の「第8回松江・森の演劇祭」の開催準備事業を支援するもの。 ■松江・森の演劇祭とは 八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年ごとに開催。演劇のほか、マルシェも開催され、賑わいを創出する。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付した。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。（実施年） 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		5,000	2,500
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		2,500
	一般財源	5,000	0
歳入合計		5,000	2,500

課題	■令和4年度は文化庁の補助金が不採択となっており、松江市補助金以外の財源を確保する必要がある。	方向性	■財源確保のため、国や民間の補助金申請やクラウドファンディングなどを支援する。 ■より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。
----	---	-----	--

文化スポーツ部文化振興課 国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付		
	3月	補助事業完了		

本事業に関する主要データ				
	第4回（H22）	第5回（H26）	第6回（H29）	第7回（R4）
期間	11/3～7	10/30～11/3	11/2～5	11/5～13
観客数	4,267人	5,040人	5156人	2,775人
来場者数	10,955人	13,262人	12,486人	8,222人
公演数	6か国11団体14公演	6か国11団体14公演	6か国14団体15公演	4か国10団体11公演
※第7回を令和2年に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、2年延期とした。				

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,500		
事業費計		2,500	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 伝統行事・伝統文化の保存継承	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		鑿行列参加団体数	16	17	20	20
	目標（何を達成するのか） 松江祭鑿行列・宵宮（前夜祭）の開催 菊花展の開催	菊花展参加者数	82	50	50	50

事業概要	◆松江祭鑿行列 1 0月の第3土日で、鑿保有町内及び鑿保有団体による宵宮（土曜日）、行列（日曜日）を開催（市内団体数31） 【令和6年度参加予定数】 宵 宮：1 1団体 鑿行列：1 7団体 ◆鑿まつり開催補助 令和4年度：団体6団体が参加 令和5年度：雨天により中止 ◆松江菊花展 1 0月中旬～1 1月初旬に文部科学大臣賞を最高位に松江城馬溜広場で開催
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	[鑿行列] 10/15（日） ・ 108回目の鑿行列を実施。 ・ 参加団体数：16団体（1,700人） ・ 観覧者数：85,000人 [宵宮（前夜祭）]10/14（土） ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で観光客や市民など鑿たたき体験を実施。 ・ 参加団体数：9団体 ・ 観覧者数：7,000人 [菊花展] 10/28（土）～11/15（水） ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施。 ・ 応募者数：82（県内：75、県外：7） ・ 来場者数：71,000人 [鑿まつり] ・ 雨天のため中止 [鑿修繕] ・ 堅町、相生町、東片原町、石橋町一区の4地区を修繕予定。	[鑿行列] 10月第3日曜日 ・ 109回目の鑿行列を実施予定。 [宵宮（前夜祭）]行列の前日の土曜日 ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で観光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 [菊花展] ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。 [鑿まつり] ・ 松江城大手前駐車場にて開催予定 [鑿修繕] ・ 希望があった地区を修繕予定。	[鑿行列] 10月第3日曜日 ・ 110回目の鑿行列を実施予定。 [宵宮（前夜祭）]行列の前日の土曜日 ・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所 で観光客や市民など鑿たたき体験 を実施予定。 [菊花展] ・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。 [鑿まつり] ・ 松江城大手前駐車場にて開催予定 [鑿修繕] ・ 希望があった地区を修繕予定。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		13,119	13,454
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,119	13,454
	歳入合計	13,119	13,454

課題	■鑿行列 ・ 各町内・団体とも、地域の人口減少に伴い、参加者数が減少している。特に子どもの参加者の確保が困難になっており、地域外からの参加や学校と連携した取り組みを検討する必要がある。 ■宵宮（前夜祭） ・ 集客を鑿行列にどのように活かしていくか検討が必要。 ■菊花展 ・ 会員の高齢化にともない、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より幅広く募集をかける必要がある。 ・ 後継者の確保、育成。	方向性	■鑿行列 ・ 鑿行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。 ■菊花展 ・ 市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを事前に行う。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	10月19日	松江祭鑿行列 宵宮		
	10月20日	松江祭鑿行列		
	11月初旬	松江菊花展		

本事業に関する主要データ								
●鑿行列					中止	中止		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
開催日	10/16	10/15	10/21	10/20	10/18	10/17	10/17	10/15
構成団体数	31	31	31	31	31	31	31	31
参加団体数	13	21	16	17	－	25	14	16
参加人数	1,410	2,266	1,736	1,970	－	－	1,005	1,700
観覧者数	80,000	50,000	80,000	85,000	－	－	90,000	85,000
●宵宮(前夜祭)					中止	中止		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加団体数	12	7	12	9	－	8	6	9
観覧者数	8,500	5,000	9,000	7,000	－	－	5,000	7,000
●鑿まつり(水燈路に合わせ、鑿行列2週間前くらいに実施)					中止	中止		雨天中止
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加団体数	7	10	7	8	－	－	6	－
				※10/24 ～11/7 15日間	※10/26 ～11/8 14日間	※10/28 ～11/11 15日間	※10/29 ～11/13 16日間	※10/28 ～11/12 16日間
●菊花展								
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出品者数	47	49	51	49	49	54	84	82
うち県内	39	40	42	42	41	48	78	75
うち県外	8	9	9	7	8	6	6	7
開催日数	17	16	14	15	14	15	16	16
来場者数	85,000	75,000	80,000	80,000	54,000	42,000	66,000	71,000
会員数	66	67	63	63	62	71	68	79

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	5,100		
委託料	7,400		
負担金補助及び交付金	954		
事業費計		13,454	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	文化財情報デジタル化推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市に残る豊富な文化財の情報に接する機会を広げて、文化財情報へのアクセスを容易にすることで、文化財への関心や理解を深めていく。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		文化財データベース導入累計箇所数（箇所）	2	3	4	6
	目標（何を達成するのか）	松江城天守登閣者数【4月～5月】（人）	355,000	460,000	470,000	500,000
	・文化財情報のデジタル化を推進する。 ・デジタル化した文化財情報の集約（一元化）を図る。	松江歴史館観覧者数【4月～5月】（人）	52,000	53,000	54,000	60,000

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 文化財データベースの導入箇所数：2027（R9） 項目名 松江城天守登閣者数：2029（R11）、項目名 松江歴史館観覧者数：2029（R11）
	○松江市に所在する豊富な文化財の情報をデータ化（デジタル化）するとともに、松江市の博物館、資料館、文化財所管部局で共通の文化財データベースシステムにデータを登録することで文化財情報を一元化して松江市版文化財デジタルアーカイブを構築する。 （※松江歴史館は既に収藏品データベースシステムを導入・運用している）
	○令和3年3月に連携協力協定を締結した同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと共同で、AR・VRなどのデジタル技術を活用した文化財情報の発信を行う。 1）松江城天守VRソフト作成・設置 ・松江城天守VRソフトを作成、設置し、天守登閣が難しい人にも登閣体験ができるバリアフリー環境の実現を図る。 2）文化財デジタル人財育成 ・発掘調査や、松江歴史館収藏品のデジタル化を自ら進めることのできる職員育成を行う。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○鹿島歴史民俗資料館への収藏品データベースシステムの導入 ○鹿島歴史民俗資料館等の文化財情報のデータ化 ○鹿島歴史民俗資料館の収藏品データベースへのデータ登録（無料ガイドアプリを用いた解説情報の発信も） ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	○松江市指定文化財台帳のデータ化 ○松江市指定文化財台帳のデータベースシステムへの登録、 ○出雲玉作資料館収藏品のデータ化 ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	○出雲玉作資料館のデータベースシステムの導入、データベースへのデータ登録 ○松江歴史館での松江城天守VR体験の運用
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	864	2,298
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	864	2,298
歳入合計		864	2,298

課題	○松江市に所在する豊富な文化財の情報を一元化して効果的に発信する環境整備が必要。 ○事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。	方向性	○一元化したデータベース（デジタルアーカイブ）を松江市のホームページ等で公開する。 ○文化財セクション横断的なチーム編成を行い、利用しやすいデジタルアーカイブの構築を図る。
----	--	-----	---

文化スポーツ部松江城・史料調査課 文化財情報デジタル化推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5～10月頃	指定文化財台帳等のデジタル化	通年	玉作資料館収藏品のデータ化作業
	11月頃～	デジタル化情報のデータベース登録作業		
	随時	文化財のデジタル化（撮影等）作業		
	通年	松江歴史館での松江城天守VR体験実施		

文化財デジタルアーカイブ構築

松江市の豊富な文化財情報を集約し、幅広い人にその魅力を伝える仕組みとして、データベースや公開システムの構築を行う。各施設や分野ごとにデータベースを構築し、松江市版文化財デジタルアーカイブとして集約する。

※余剰部分が文化財デジタルアーカイブの構築部分（『松江市文化財保存活用地域計画』に掲げるデジタルアーカイブの実現を目指す）

※「ヒストリー」：調査研究で知りえた事実を使った松江の歴史文化の物語
※松江歴史館が利用するクラウド型データベースシステム「I.B.MUSEUM SaaS」を採用

リアリティーのあるVRで
国宝松江城天守への登閣を疑似体験！

体験場所 松江歴史館 ライブシアター
対象 13歳以上 参加費 無料
体験日時 毎週金、土、日曜日
【期間】令和4年8月12日（金）～11月27日（日）
【金曜日】13時30分～16時30分（※祝日の場合休土、日曜日に準ずる）
【土、日曜日】9時30分～12時、13時30分～16時30分

事前申込が必要です
※8月7日（水）10時～16時のみです
※予約枠に空きがあれば、事前申込なしの日も参加も可能です

【予約料】1人につき15分
（※定額の体験料1席につき3分まで）
（予約について）
松江市文化スポーツ課
TEL: 0852-32-1807
（TELの案内について）
松江歴史館 TEL: 0852-45-8808

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	144		
旅費	399		
委託料	1,359		
使用料及び賃借料	396		
事業費計		2,298	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	京店広場・旧日銀松江匠工房整備事業費（継続費）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	建築基準法第12条点検及び耐震診断結果により指摘のあった箇所を中心に施設全体の老朽改修工事を実施する。また、あり方検討結果を踏まえた改修工事も併せて実施していく。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		数値目標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	令和3年度にカラコロ工房の基本構想を策定し、令和4年度からは老朽改修や基本構想に伴う設計や工事を経て、令和6年秋のリニューアルオープンを目指す。					

事業概要	カラコロ工房の老朽改修工事に合わせ、中心市街地の拠点としてより多くの市民や観光客に活用されるよう、施設の更なる魅力化のためのリノベーションを行う。
	○総事業費 8億2,023万円（R5：7億9,118万円 R6：2,905万円） ○工事内容 〈老朽改修工事〉外壁修繕、屋上防水対策、エレベーター改修等 〈リニューアル工事〉内装改修、ライトアップLED化、Wi-Fiの新設等 ○スケジュール R5～R6：改修工事、R6.10（予定）：リニューアルオープン ※R5.4～R6.9 全館休館

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	令和4年度に引き続き内部の実施設計を実施し、10月からは改修工事に着手。 ※カラコロ工房は、4月から全館休館。	令和5年度に引き続き改修工事を実施する。改修工事完了次第、入居する各テナントのオープン準備を経て、10月にリニューアルオープン予定。	
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		791,176	29,051
財源内訳	国・県支出金	307,291	0
	地方債	478,200	0
	その他	0	0
	一般財源	5,685	29,051
歳入合計		791,176	29,051

課題	これまで以上に新たな仕組みと仕掛けを施すことにより、より多くの市民や観光客が日常的に訪れるきっかけを作り出していく必要がある。	方向性	令和3年度末に策定した「カラコロ工房新活用基本構想」を踏まえ、計画的な工事の遂行とともに、まちづくりの拠点施設としての魅力を高める。
----	---	-----	--

産業経済部商工企画課 京店広場・旧日銀松江匠工房整備事業費（継続費）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	旧日銀松江匠工房整備事業
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	10月	リニューアルオープン（予定）		

本事業に関する主要データ



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	29,051		
事業費計		29,051	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	インバウンド観光推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海外に向けたプロモーション、情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行い、更なる誘客につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	43,590	70,000	86,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人【2029（R11）年】					

事業概要	（数値目標の目標年）外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	1 海外に向けたプロモーション （1）重点市場 東アジア・欧米豪・東南アジア （2）事業内容 ①旅行会社への営業、商談会への参加による商品造成促進 ②イベント等への出展やSNS等を活用した情報発信によるPR活動 ③サイクリングをテーマとした誘客促進 2 国内在住外国人等の発信力を活用した国内外へのアプローチ 3 受入環境整備 外国語パンフレット、マップ作成等

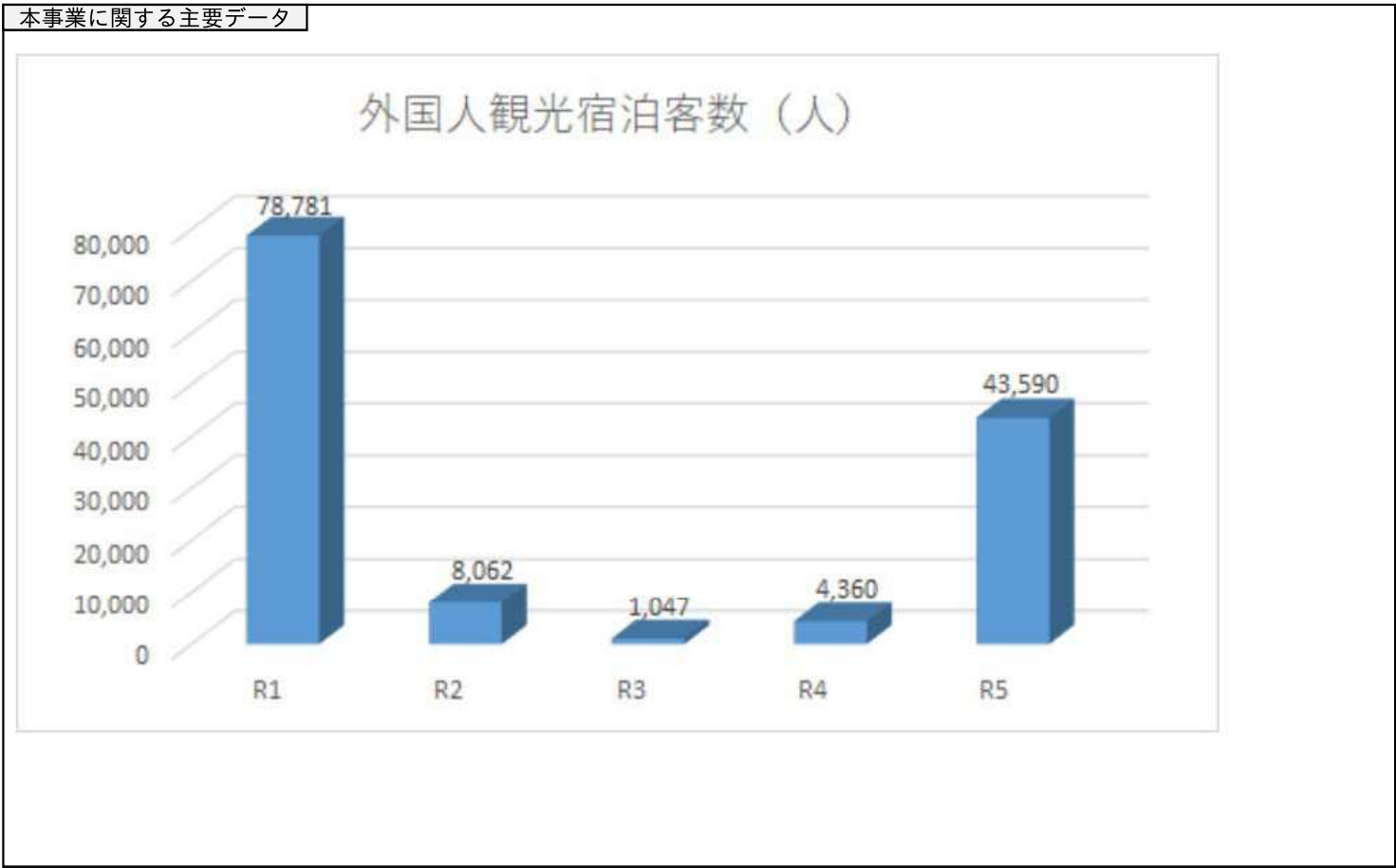
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、国内外商談会参加、イベント出展、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、旅行博出展、SNS等での情報発信、 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、国内外商談会参加、イベント出展、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社へのプロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、旅行博出展、SNS等での情報発信 ○米国 国内外の旅行会社プロモーション、SNS等を活用した情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信、イベント出展 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信、旅行博出展 ○米国 国内外の旅行会社プロモーション、SNS等を活用した情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		19,469	19,669
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	19,469	19,669
歳入合計		19,469	19,669

課題	海外における本市の認知度が低いため、継続的な情報発信と旅行会社へのアプローチが必要不可欠である。	方向性	SNS等の活用や対面あるいはオンラインセールスなど、その時々でのベストな手法により情報発信や営業活動を実施していく。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種情報発信		
	通年	商談会・イベント等によるPR		
	通年	国内外旅行会社招請		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	1,591		
需用費	600		
役務費	250		
委託料	16,070		
使用料及び賃借料	60		
負担金補助及び交付金	1,098		
事業費計		19,669	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	広域観光周遊ルート整備促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広島を中心に多くの外国人観光客が訪れる山陽方面と当市を縦軸で結ぶ周遊ルートを確立し、当市への外国人観光客誘致につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	43,590	70,000	86,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	多くの外国人観光客が訪れる広島からの誘客を図るため、外国人観光客を対象に広島松江間高速バス運賃の割引（自己負担：片道1,000円）を実施する。

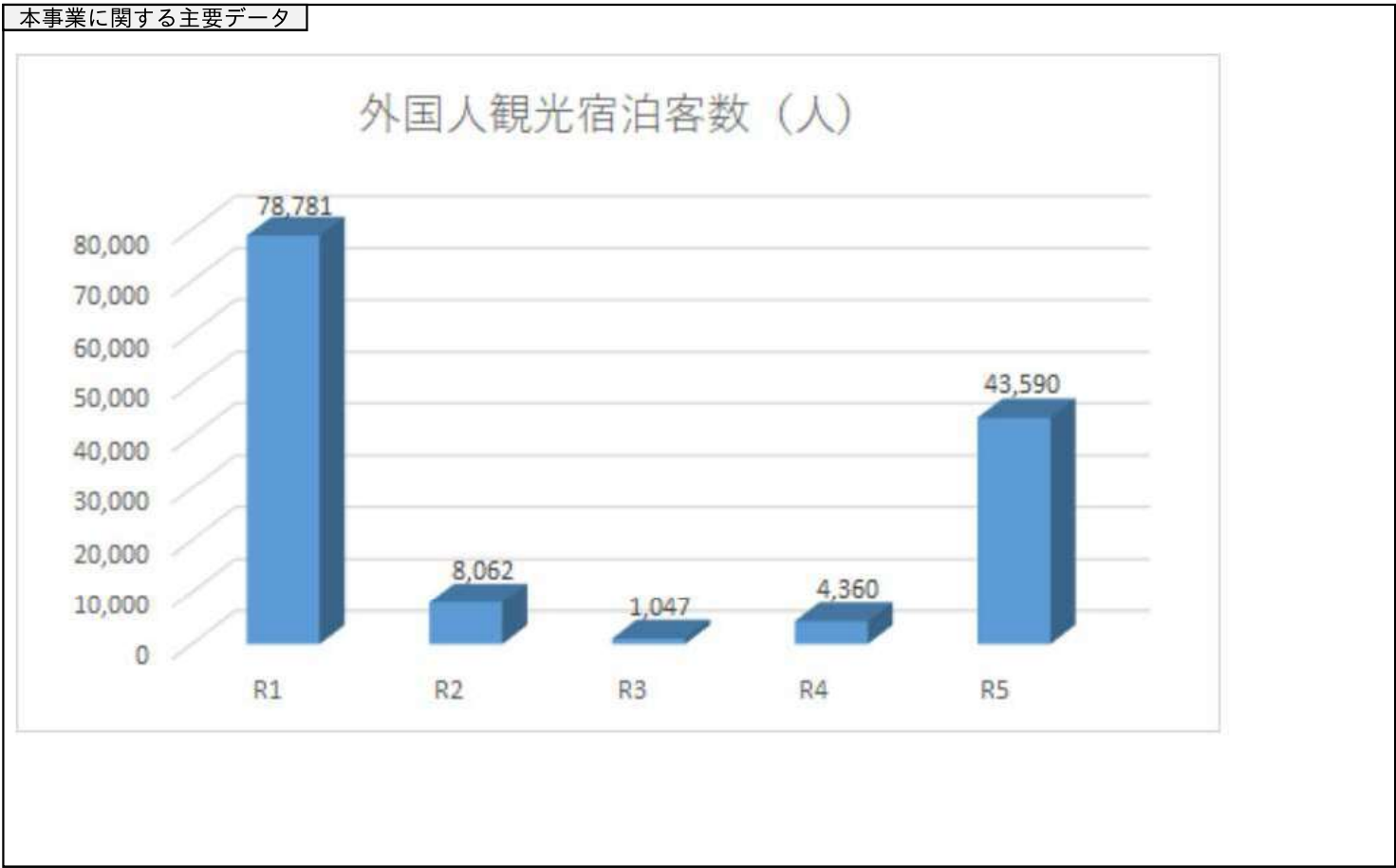
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	広島松江間の高速バス運賃割引事業 R5年度利用見込み者数 2,000人	広島松江間の高速バス運賃割引事業 R6年度利用見込み者数 2,533人 制度見直しにより、自己負担額を500円から1,000円に変更	広島松江間の高速バス運賃割引事業 R6年度利用見込み者数 3,000人
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		2,249	4,049
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,249	4,049
歳入合計		2,249	4,049

課題	新しいデスティネーションとして本市を選んでもらうため、認知度向上を図っていくことが必要。	方向性	当該事業の認知度の向上を図るため、山陽方面の関係機関や島根県及び山陰インバウンド機構と連携し、情報発信を強化していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	運賃割引実施		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	249		
負担金補助及び交付金	3,800		
事業費計		4,049	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	外国人滞在型観光促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市への訪日旅行者の増加を図ることにより、観光事業の振興・発展に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	43,590	70,000	86,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕				

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	松江観光協会が訪日団体旅行誘致のために行う事業に対し補助金を交付する。 ＜事業内容＞ 市内宿泊施設を利用する訪日団体旅行を企画・実施、手配する旅行業者に対し、1人1泊あたり2,000円を補助する。

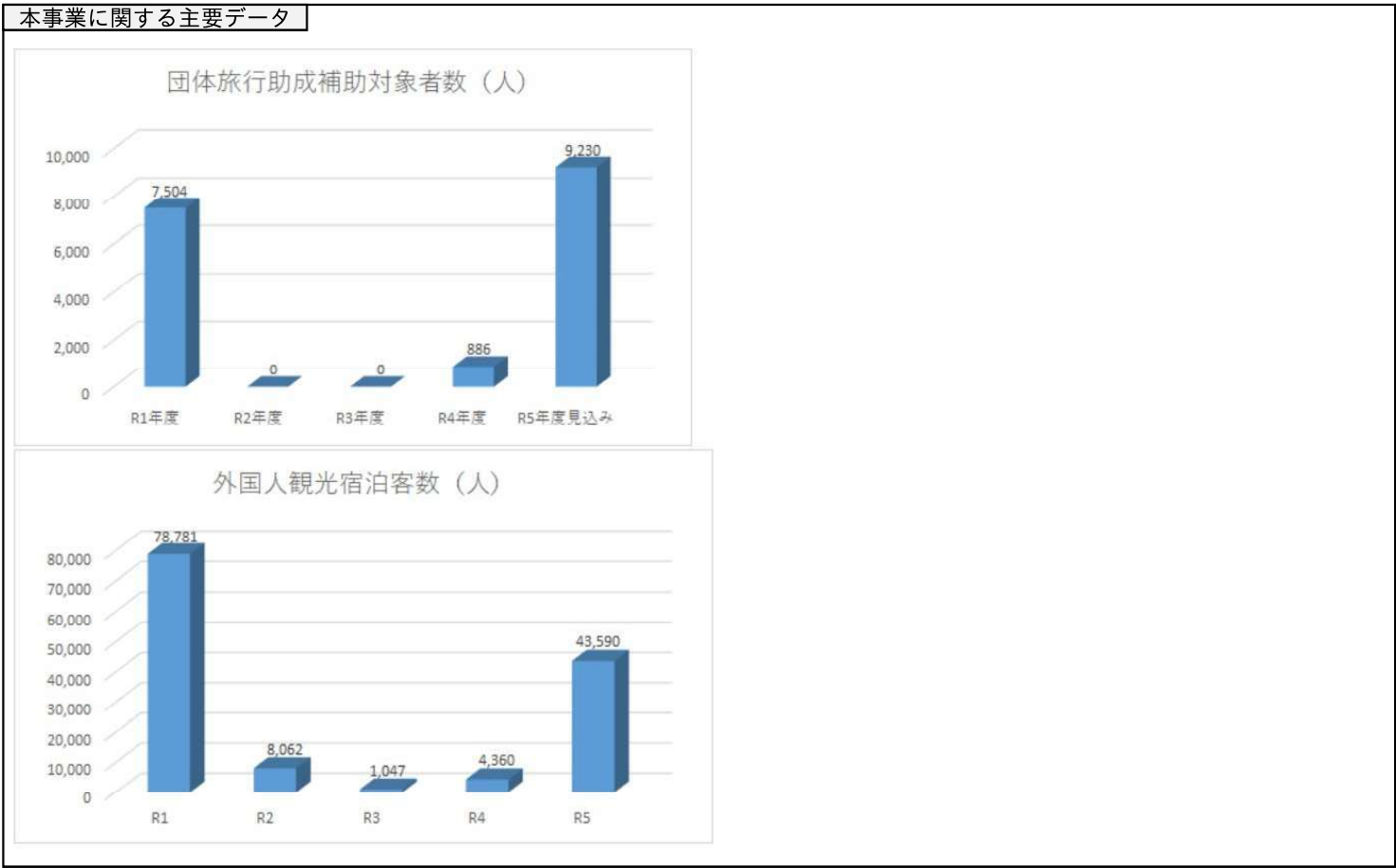
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 9,230人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 5,600人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 7,000人・泊分
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	13,000	9,900
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,000	9,900
歳入合計		13,000	9,900

課題	新しいデスティネーションとして松江を選んでもらい、観光地としての評価を高めていくことが必要。	方向性	訪日旅行を取り扱う旅行会社に対し補助金を交付することで、旅行商品の新規造成を促進するとともに、既存旅行商品の継続販売を促していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	補助金受理申請～交付手続き		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	9,900		
事業費計		9,900	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	2 0 2 5 年日本国際博覧会観光誘客促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	2025年に開催される大阪・関西万博には350万人の外国人の来場が見込まれている。この大阪・関西万博の開催を好機と捉え、外国人観光客を誘客することを目的とする。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	43,590	70,000	86,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人【2029（R11）年】				
	外国人観光宿泊客数 150,000人【2029（R11）年】					

事業概要	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となった「インバウンド推進協議会」を設立し、当該協議会へ負担金を支出するもの。 *データ分析 *本市の外国人観光客受入環境整備（現状調査及びおもてなし研修等の実施による機運醸成） *観光商品造成・販売及びプロモーションの実施
------	---

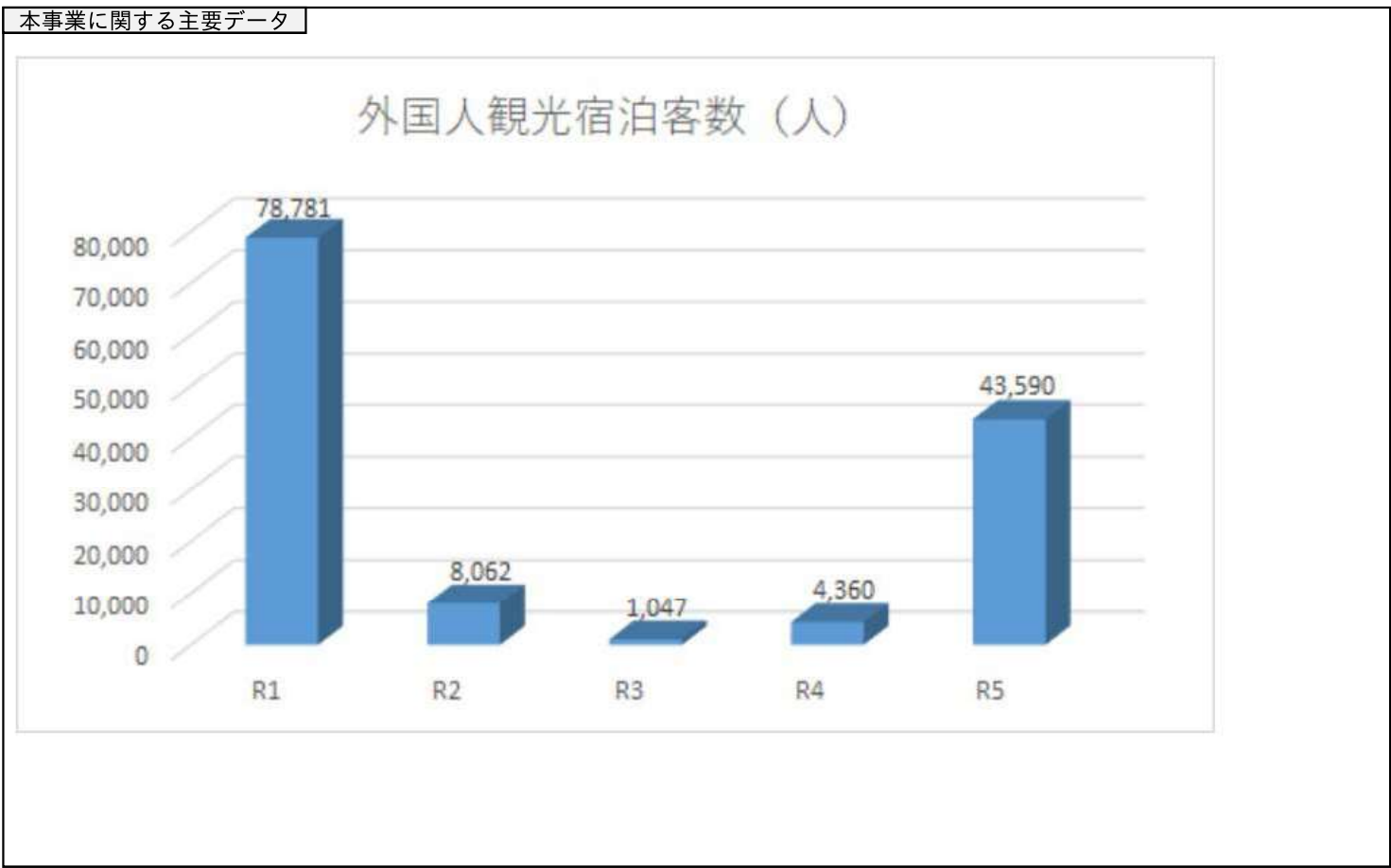
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となった「インバウンド推進協議会」を設立。当該協議会へ負担金を支出。 *アンケート調査の実施 *インバウンド研修の実施 *観光コンテンツの洗い出しとブラッシュアップ *観光モデルコースの検討 *プロモーションの実施	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となった「インバウンド推進協議会」を設立。当該協議会へ負担金を支出。 *インバウンド研修の実施 *観光モデルコースの検討 *観光商品の造成と販売 *観光商品のモニターツアー実施 *プロモーションの実施	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となった「インバウンド推進協議会」を設立。当該協議会へ負担金を支出。 *観光商品の造成と販売 *プロモーションの実施
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	6,850	18,409
	国・県支出金		9,204
	地方債		
	その他		0
	一般財源	6,850	9,205
歳入合計		6,850	18,409

課題	認知度向上を図るため、「茶の湯文化」、「城下町」、「水の都」、「歴史ある温泉」など本市ならではの魅力ある観光コンテンツのブラッシュアップやツアー造成、プロモーションを行っていく必要がある。	方向性	中四国地域をひとつのエリアとして捉え、官民が一体となって本市への誘客促進を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ツアー商品造成		
	6月～12月	視察ツアー実施		
	通年	ターゲット別プロモーション（情報発信）		
	10月～3月	ツアー商品販売		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	18,409		
事業費計		18,409	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広域連携によるプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	県内、中海・宍道湖・大山圏域、山陰、中国地方などの自治体等と広域連携し、プロモーションを実施して誘客を図る。

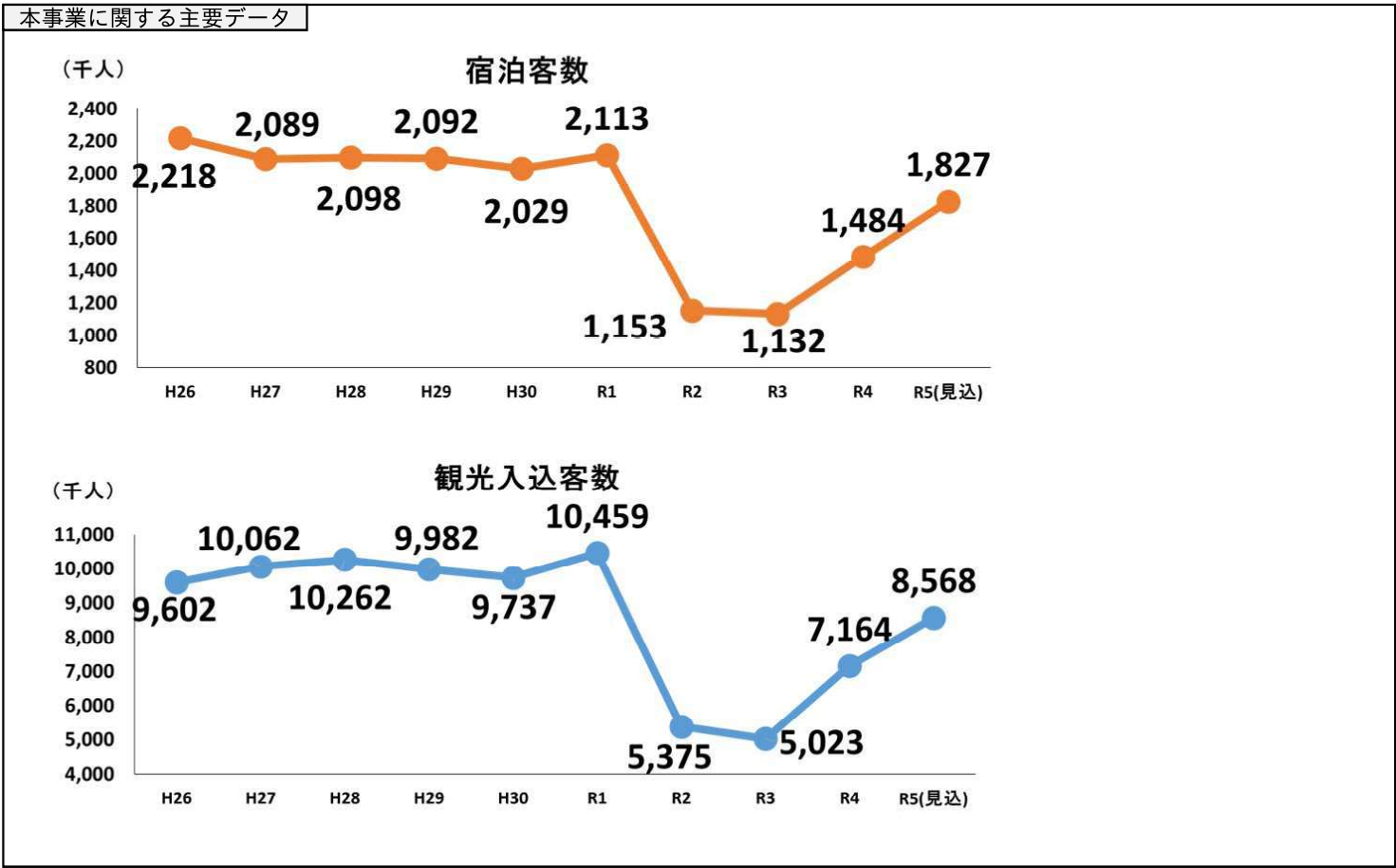
事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	<広域連携> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会		○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会	○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		14,955	15,030
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	14,955	15,030
歳入合計		14,955	15,030

課題	○広域連携を図り、より効果的な事業を実施する必要がある	方向性	○県内や隣県自治体等との連携を強化し、観光誘客、周遊促進を図る

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種プロモーション		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	470		
需用費	35		
役務費	5		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	14,515		
事業費計		15,030	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	大会団体受入経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンション誘致促進を図るため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能の提供を行う。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市で開催されるコンベンション誘致を進めるため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能を提供するもの ○委託開始：平成17年度～ ○委託先：（一財）くにびきメッセ ○委託目的：コンベンション主催者の利便性確保と事業の効率化を図る

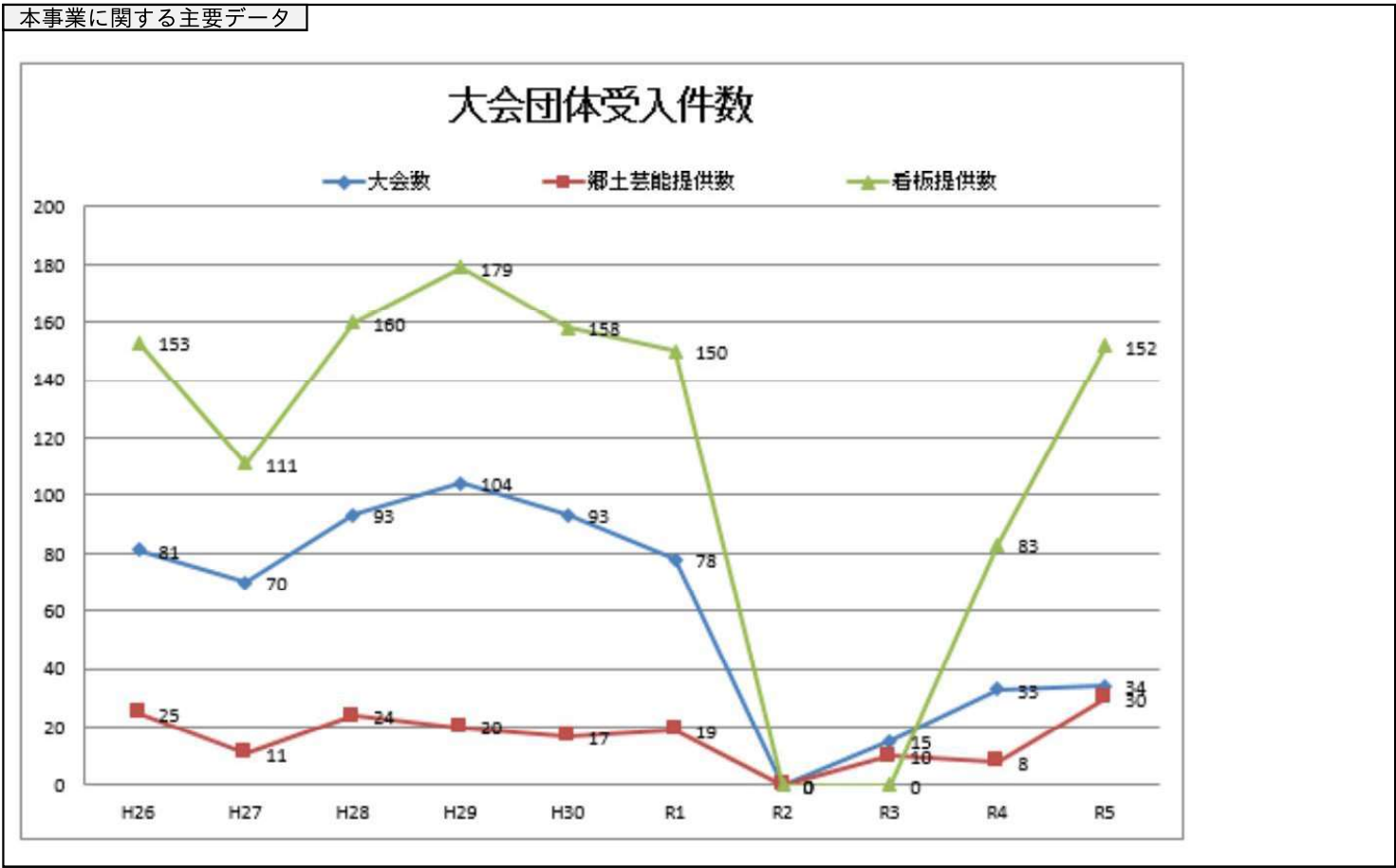
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供	・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供	・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源内訳	事業費	2,614	1,343
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,614	1,343
歳入合計		2,614	1,343

課題	大会主催者、参加者のニーズを把握し、満足度を高める必要がある。	方向性	誘致活動を行うくにびきメッセと連携を密にし、開催地としての魅力を高める。
----	---------------------------------	-----	--------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	契約		
	3月	実績報告		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,343		
事業費計		1,343	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	ボランティアガイド事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れる国内外の観光客の満足度向上	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊者客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市観光ガイド活動推進協議会を組織し、「松江ボランティアガイドの会」「松江グッドウィルガイド連絡会」の活動を支援することで、観光客へのおもてなしの充実を図る。 ※松江ボランティアガイドの会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料） 松江グッドウィルガイド連絡会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料）

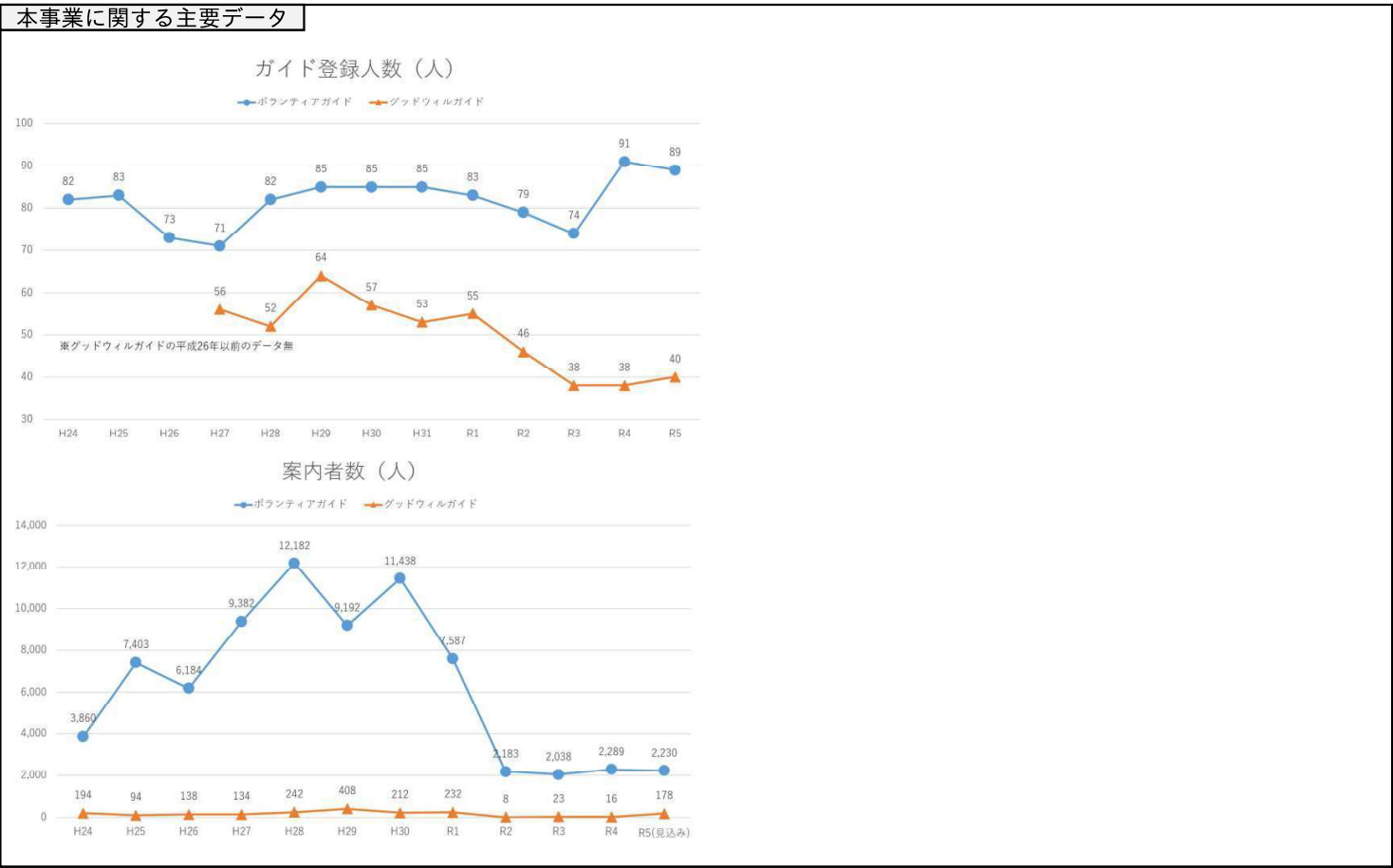
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		175	175
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	175	175
歳入合計		175	175

課題	ガイドのニーズが高まっていることから、新たなガイドの確保が必要。	方向性	ガイドの活動を市民に知ってもらい、ガイド会員数を増やす。
----	----------------------------------	-----	------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月頃	研修参加		
	1月頃	研修参加		
	3月	研修旅行実施		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	175		
事業費計		175	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江国際観光案内所管理運営委託費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江国際観光案内所において、観光客への情報提供や各種案内を行い、国内外の観光客が安心して過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江国際観光案内所の管理運営を松江観光協会に委託。国内外の観光客への情報提供、案内を行う。 日本政府観光局により常時英語での対応が可能なカテゴリー 2 に認定されている。

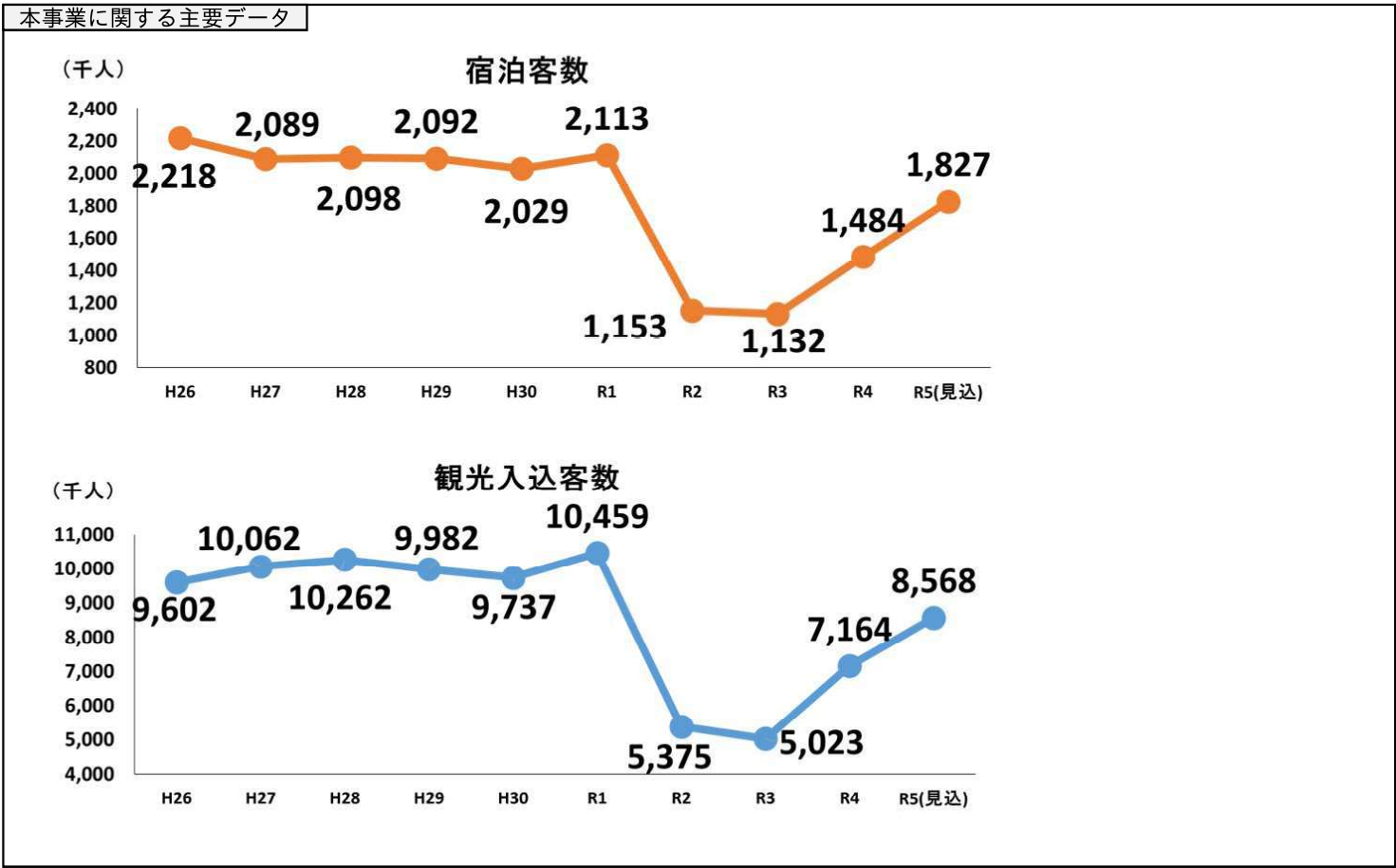
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内、JNT0外国人観光案内所認定の更新	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		21,856	21,784
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	21,856	21,784
歳入合計		21,856	21,784

課題	○松江市の情報に加え、より広範囲な情報提供が求められる	方向性	○他の自治体の観光案内所とも連携し、広範囲な観光案内を目指す。 ○インバウンドに対応し、外国語での情報提供の充実を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	観光案内業務		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	21,784		
事業費計		21,784	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	コンベンション対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンションを誘致し、地域経済の活性化を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
		観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029年（R11）年
	○コンベンション開催支援補助：大会規模、延べ宿泊者数に応じて主催団体へ補助金交付 ○コンベンション観光バス運行補助：エクスカーションや懇親会会場への移動に利用するバスの借上げ経費を補助 ○くにびきメッセ負担金（人件費）

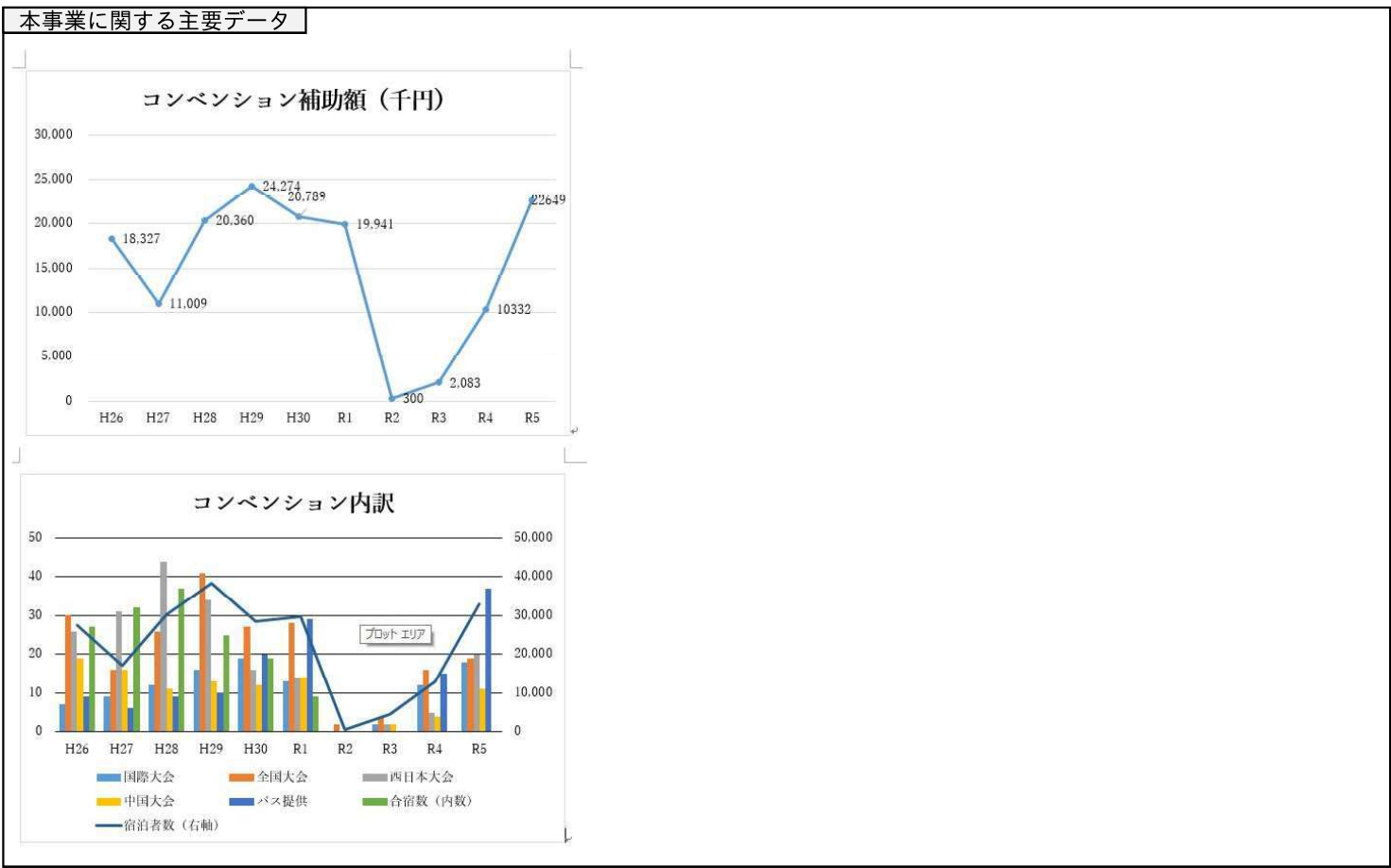
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催予定52件（国際10件・全国5件、西日本8件、中国4件、合宿25件）	○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催予定 51件（国際10件・全国6件、西日本5件、中国5件、合宿25件）	○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		22,649	25,712
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	22,649	25,712
歳入合計		22,649	25,712

課題	○主催団体や参加者のニーズを捉え、開催地としての魅力を高める。 ○アフターコンベンションの消費拡大を図る仕掛けづくりが必要。	方向性	○エクスカーションやユニークベニユーの充実を図ることで、誘致を促進する。 ○民間事業者や関係機関との連携を図り参加者の消費拡大を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付決定		
	3月	補助金確定		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	25,712		
事業費計		25,712	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光客受入事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	旅行会社へのレイクライン1日乗車券提供による旅行商品の販売促進、映画やテレビ番組のロケ誘致による情報発信を通して誘客を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	①エージェント旅行商品タイアップ事業 観光客の誘致と認知度向上を図る為、レイクラインや松江市の観光素材・旅行商品を旅行パンフレットなど募集媒体に掲載することを条件に、レイクラインの1日乗車券を提供する ②松江フィルムコミッション協議会負担金 松江市のイメージアップに繋がる映像や画像等を露出しロケ地巡り等観光客の誘客を図る為、松江市近郊で行う映画、ドラマ等の撮影先や雑誌の取材先紹介及び同行してのサポート

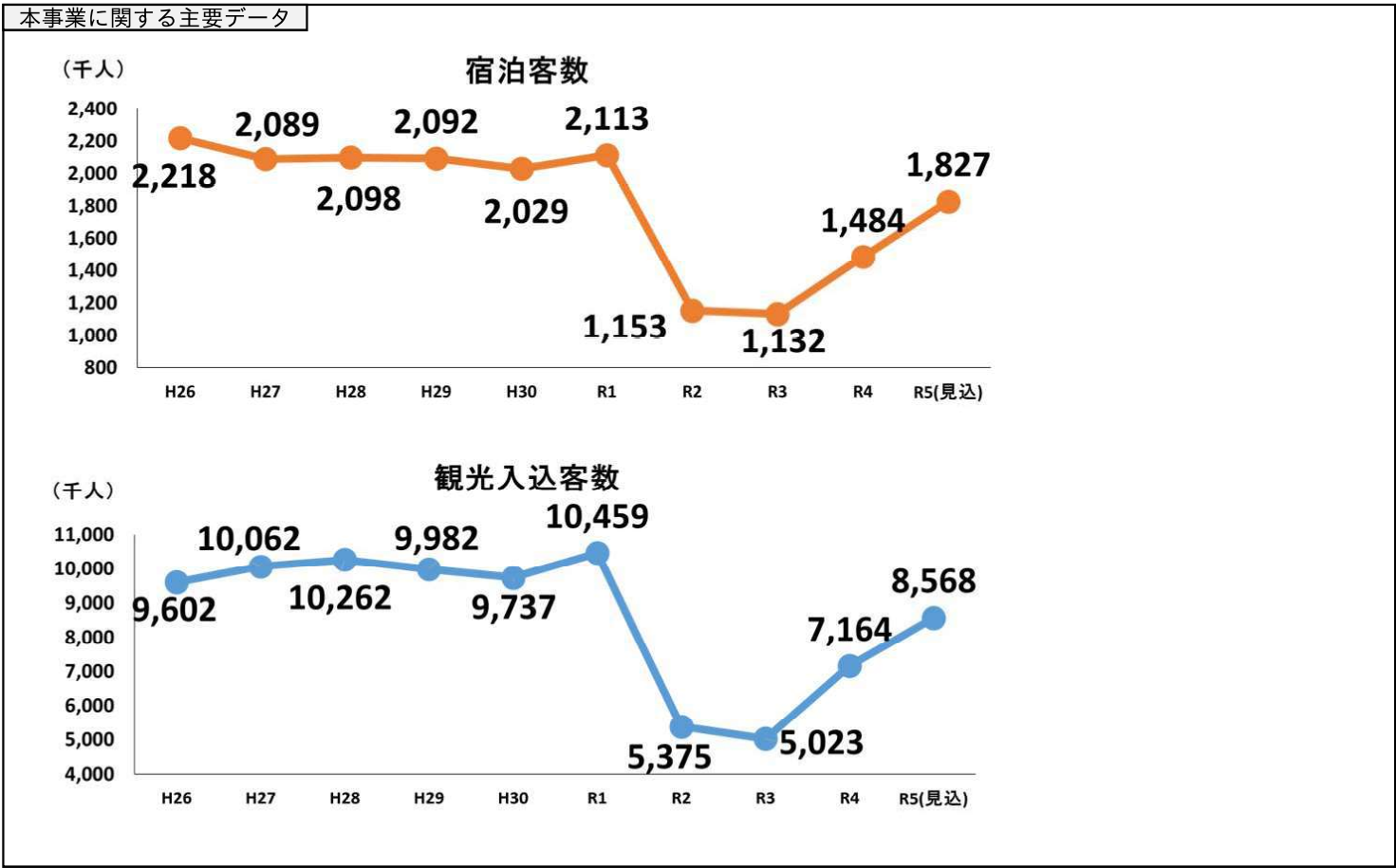
事業計画	R5実績見込		R6計画		R7計画	
	○レイクライン1日乗車券提供 見込み14商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 見込み55件		○レイクライン1日乗車券提供 目標30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 目標69件		○レイクライン1日乗車券提供 目標30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 目標77件	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		13,416	10,150
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,416	10,150
歳入合計		13,416	10,150

課題	○旅行会社の商品造成、販売を促進することで誘客を図る必要がある ○映画やテレビ番組のロケ、メディアの取材のニーズを把握する必要がある	方向性	○旅行会社への営業ツールとしてレイクライン乗車券提供を効果的に活用する ○フィルムコミッション協議会構成団体等の連携を強化し、誘致を促進する
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	レイクライン1日乗車券提供		
	随時	松江F Cを通じたロケ支援		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	9,900		
負担金補助及び交付金	250		
事業費計		10,150	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光バリアフリー推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れるすべての観光客が快適に過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	183	211	219	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 松江バリアフリースターセンターを運営し、観光バリアフリーを推進するNP0法人プロジェクトゆうあいに対して補助金を交付する。
------	---

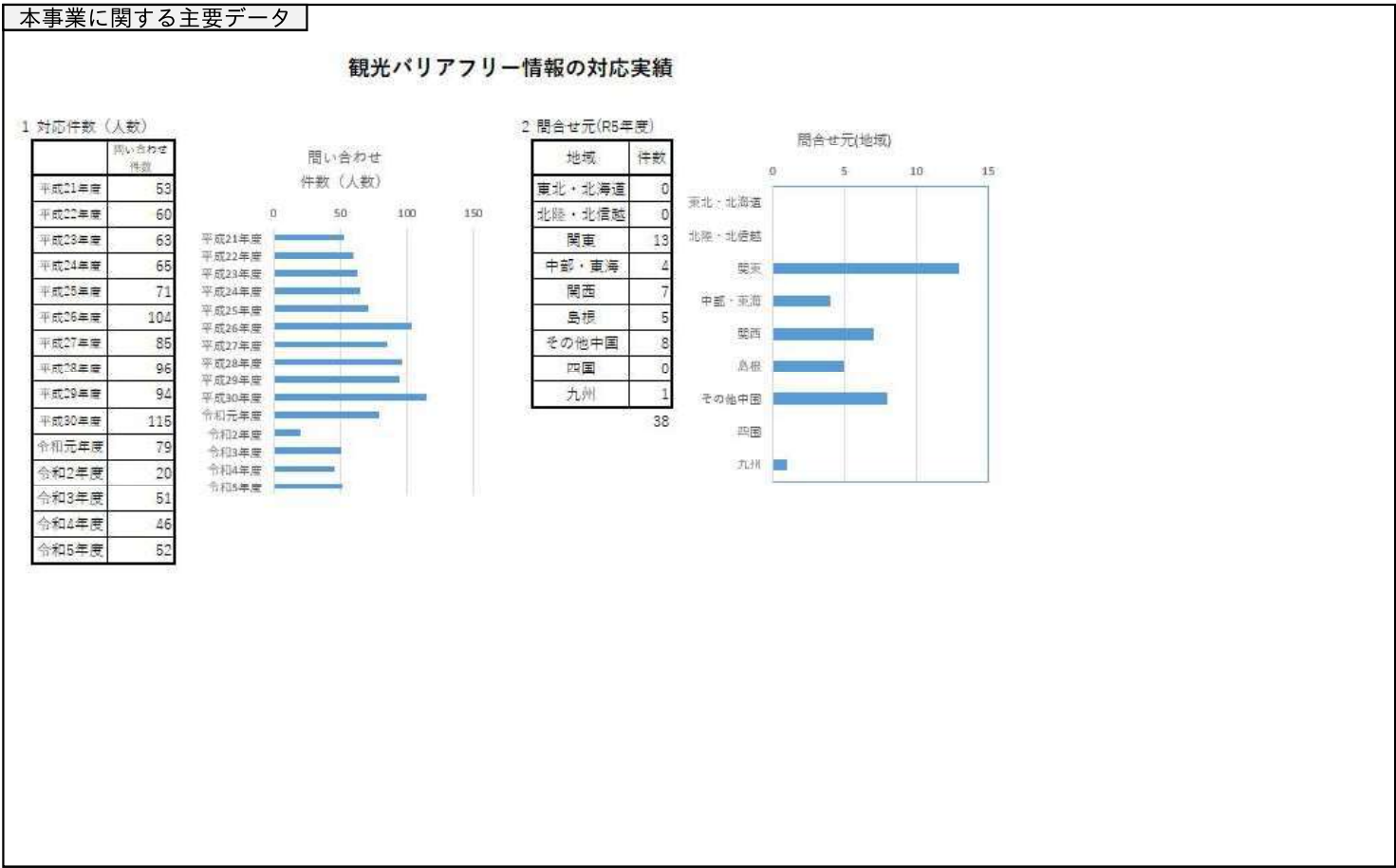
事業計画	R5実績見込		R6計画	R7計画
	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート		○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		800	800
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	800	800
歳入合計		800	800

課題	○障がい者、高齢者等が快適に滞在できる環境づくりのため、ニーズや課題の把握が必要 ○バリアフリー観光地づくりのために観光関連事業者の連携が必要	方向性	○松江バリアフリースターセンターや観光関係機関と連携して取り組む
----	--	-----	----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金決定		
	3月	補助金確定		



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計		800	

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	閑散期誘客対策事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	年間の観光入込客数1,100万人、年間宿泊客数250万人を達成するため、観光客の落ち込む梅雨時期、冬期、平日の閑散期の誘客を強化する。	項目（成果指標） 年間宿泊客数（万人）	R5実績見込 183	R6計画 211	R7計画 219	目標値 250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	857	1,000	1,020	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す ※令和6年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の数値を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	年間の観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人を達成するためには、梅雨時季や冬季などの閑散期の誘客を強化する必要がある、（一社）松江観光協会とともに事業に取り組む。

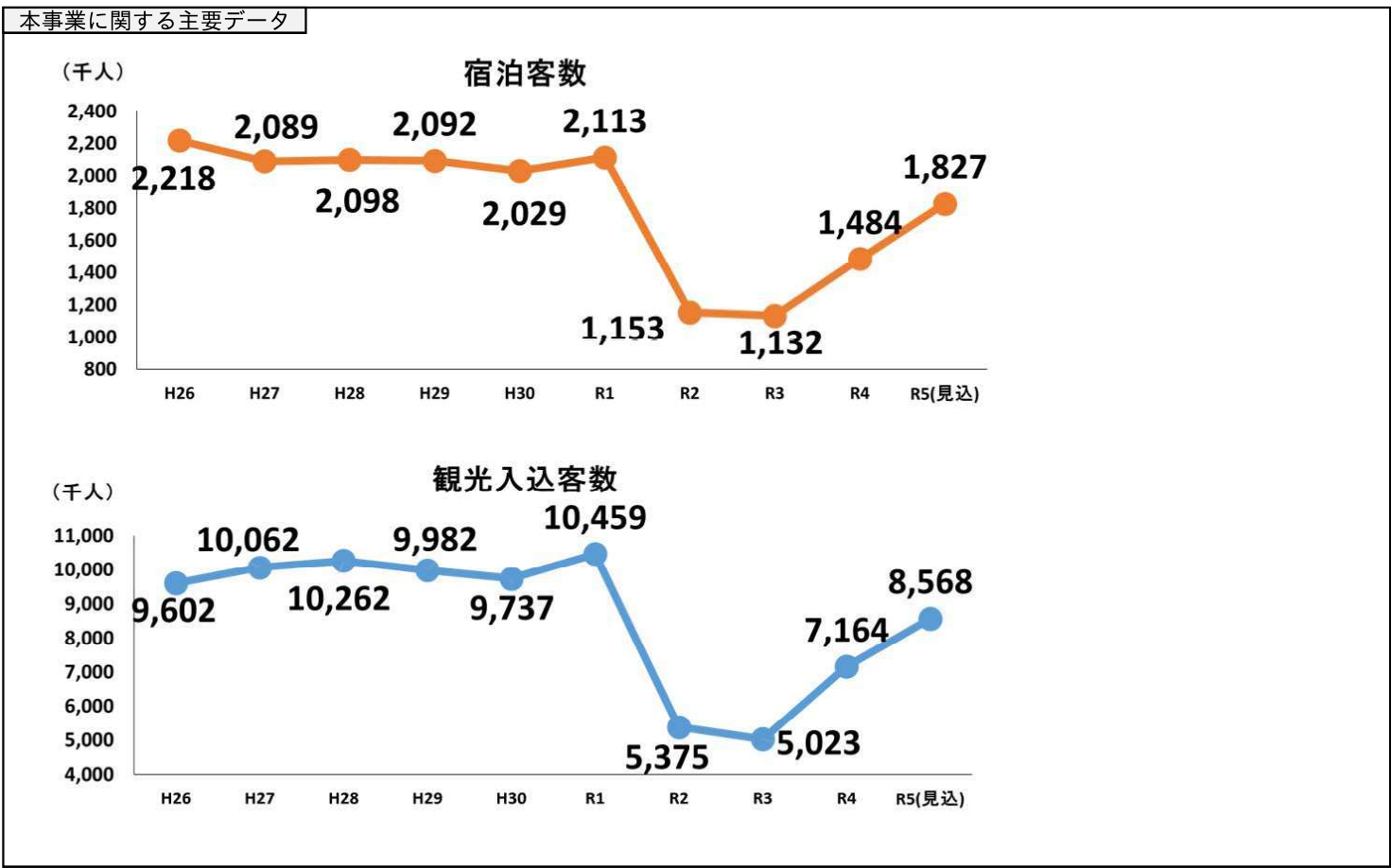
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する ○若い世代（学生等）の誘客に向けて、ラジオや駅サイネージでのPR、および旅行会社での宿泊割引を実施	○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する	○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する
	達成度		
	1計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		1,000	1,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,000	1,000
歳入合計		1,000	1,000

課題	○閑散期に旅行を行うターゲットに絞り込んだ効果的なプロモーション	方向性	○目標達成に向けて重要課題として継続して実施 ○官民が連携して情報共有し、常に新たな視点で営業戦略を実施する ○SNSマーケティングの結果等をもとに、ターゲット層の見直し及びプロモーションを継続して行う ○年度当初から県・市・観光事業者等が連携して取り組む
----	----------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6～7月	アンブレラスカイ		
	冬季	若い世代（学生等）の誘客に向けた取り組み		



共創の状況	協議会
-------	-----

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,000		
事業費計		1,000	